

## 旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会 派 代表者	自由民主党 田原市議団 大竹正章	経 理 責任者	村上 誠			
旅行期間	令和4年10月12日から 令和4年10月14日まで	2泊 3日	視察代表	大竹正章			
旅行先	長崎県長崎市 出島メッセ長崎 (〒850-0058 長崎県長崎市尾上町4番地1)						
宿泊地	東横 INN 長崎駅前 (〒850-0036 長崎県長崎市五島町5-45)						
視察・研修 等 目 的	第84回全国都市問題会議						
行 程	10月12日(水) 前泊 10月13日(木) 全国都市問題会議参加 10月14日(金)                    "  詳細は別紙のとおり						
経路 別紙のとおり	旅 費						
	鉄道賃		4	6	3	0	0
	車 賃						
	航空賃						
	日 当			4	5	0	0
	宿泊料		2	4	0	0	0
	研修費		1	0	0	0	0
	合 計		8	4	8	0	0

※太枠内へ所要事項を記入すること。  
経路及び旅費については、事務局にて記入。

別紙

行程

1日目：やぐま台駅 → 豊橋駅 → 名古屋駅 → 博多駅 → 武雄温泉駅 → 長崎駅

徒歩 → 長崎駅 → 五島町 → ホテル  
市電 (長崎電軌)

2日目：ホテル → 五島町 → 長崎駅 → 会場 → 長崎駅 → 五島町 → ホテル  
徒歩 市電 徒歩 徒歩 市電 徒歩 (長崎電軌) (長崎電軌)

3日目：ホテル → 五島町 → 長崎駅 → 会場 → 長崎駅 → 武雄温泉駅 →  
徒歩 市電 徒歩 徒歩 新幹線かもめ リレーかもめ (長崎電軌)

博多駅 → 名古屋駅 → 豊橋駅 → やぐま台駅  
のぞみ こだま 渥美線

1日目

やぐま台駅 → 新豊橋駅(渥美線)	420円 (電)
豊橋駅 → 名古屋駅(新幹線こだま指定席 72.4km)	(運賃)11,780円 (電) *往復割引対応 (特急券)6,500円 (電) *豊橋 → 博多間 (指定席) 530円 (電) (のぞみ割増)530円 (電) (特急券)3,190円 (電) *博多 → 長崎 (長崎電軌)100円 (電)
名古屋駅 → 博多駅(新幹線のぞみ指定席 808.9km)	
博多駅 → 武雄温泉(リレーかもめ指定席 81.9km)	
武雄温泉 → 長崎駅(新幹線かもめ指定席 69.6km)	
長崎駅 → 五島町(長崎電軌)	

2日目

五島町 → 長崎駅(長崎電軌)	100円 (電)
長崎駅 → 五島町(長崎電軌)	100円 (電)

3日目

五島町 → 長崎駅(長崎電軌)	(長崎電軌)100円 (電)
長崎駅 → 武雄温泉(新幹線かもめ指定席 69.6km)	(運賃)11,780円 (電) *往復割引対応 (特急券)6,500円 (電) *博多間 → 豊橋 (指定席) 530円 (電) (のぞみ割増)530円 (電) (特急券)3,190円 (電) *長崎 → 博多 (渥美線) 420円 (電)
武雄温泉 → 博多駅(リレーかもめ指定席 81.9km)	
博多駅 → 名古屋駅(新幹線のぞみ指定席 808.9km)	
名古屋駅 → 豊橋駅(新幹線こだま指定席: 72.4km)	
新豊橋駅 → やぐま台駅(渥美線)	

日当(2,000円×2日、滞在500円×1日)	4,500円
宿泊費(12,000円×2日)	24,000円
研修費	10,000円

## 視察・研修等報告書

令和4年10月20日

田原市議会議長 殿

会派名 自由民主党田原市議団  
議員名 大竹 正章

下記のとおり、視察・研修等が終了したので報告します。

	会派 代表者	大竹 正章	経理 責任者	村上 誠
期 間	令和4年10月13日(木)～14日(金)			
視察・研修 等先	<p>●第84回全国都市問題会議 出島メッセ長崎 (〒850-0058 長崎県長崎市尾上町4-1) 宿泊先：東横 INN 長崎駅前 〒850-0036 長崎県長崎市五島町5-45</p>			
視察・研修 等の目的	<p>議題：個性を活かして「選ばれる」まちづくり ～何度も訪れたい場所になるために～</p>			
視察先等 面会者				
概要及び所見	<p>●基調講演 民間主導の地域創生の重要性と題しジャパネットホールディングス CEO 高田旭人氏の講演は、今回の最も肝になる話であった、価値を見つけ、磨き、伝える事業方針のもと長崎スタジアムシティプロジェクトを進めており、もし成功するのであれば行政主導のまちづくりに大きな一石を投じる事になる。経過を注視したい。</p> <p>●主報告 長崎市長 田上氏より魅力あるまちづくりの報告では、かなり民間に感化されているお方、昭和の観光都市から二一世紀の交流都市を目指すとし、街のOSを書き換えると言う。素通りからストーリーの街へはゴロが良い。</p> <p>●一般報告 3人の報告があったが、(一社)地域力想像デザインセンター代表の高尾忠志氏による報告では、長崎市景観専門監とし</p>			

て10年在籍し、あらゆる事業を監修している。彼のような人材が縦割りの中で横断的に価値ある視点を提供する強みが長崎市にはある。大きな目的を見据えた自治体人材の育成は官民、縦割りを超えクリエイティブな成果を求める現代に求められる、希望でもある。

● パネルディスカッション

飛騨市長の奮闘がひととき目立ったファンクラブからの関係人口、ヒダスケやふるさと納税、定住見込みデータを整理して相関関係を明示された「関係人口三段階説」は腹落ちしやすく冷静にアプローチする必要性を説いた。人口減少先進地の事例に多々学ぶべきところがある。

# 政務活動費領収書等貼付用紙

(領収書は重ならないように貼付)

領収書 貼付用 紙No.	1
--------------------	---

領収書金額	410,000円
-------	----------

①	研究研修費
2	調査旅費
3	広報費
4	広聴費
5	要請・陳情活動費
6	会議費
7	資料作成費
8	資料購入費
9	事務費
10	その他の経費

No.0758

## 会議参加費 領収書

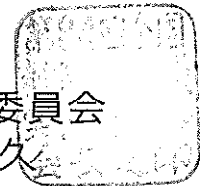
自民党田原市議団 大竹正章様

金 10,000円

但、「第84回全国都市問題会議」に係る会議参加費として  
上記正に領収いたしました。

令和4年 10月 13日

第84回全国都市問題会議実行委員会  
会長 田上 富久



## 旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会 派 代表者	自由民主党 田原市議団 大竹正章	経 理 責任者	村上 誠			
旅行期間	令和4年10月12日から 令和4年10月14日まで	2泊 3日	視察代表	中神靖典			
旅行先	長崎県長崎市 出島メッセ長崎 (〒850-0058 長崎県長崎市尾上町4番地1)						
宿泊地	東横 INN 長崎駅前 (〒850-0036 長崎県長崎市五島町5-45)						
視察・研修 等 目 的	第84回全国都市問題会議						
行 程	10月12日(水) 前泊 10月13日(木) 全国都市問題会議参加 10月14日(金)                   "  詳細は別紙のとおり						
経路 別紙のとおり	旅 費						
	鉄道賃		4	6	5	0	0
	車 賃						
	航空賃						
	日 当			4	5	0	0
	宿泊料		2	4	0	0	0
	研修費		1	0	0	0	0
合 計		8	5	0	0	0	

※太枠内へ所要事項を記入すること。  
経路及び旅費については、事務局にて記入。

別紙

行程

1 日目：三河田原駅 → 豊橋駅 → 名古屋駅 → 博多駅 → 武雄温泉駅 → 長崎駅

徒歩 市電 徒歩  
→ 長崎駅 → 五島町 → ホテル  
(長崎電軌)

2 日目：ホテル → 五島町 → 長崎駅 → 会場 → 長崎駅 → 五島町 → ホテル  
(長崎電軌) (長崎電軌)

3 日目：ホテル → 五島町 → 長崎駅 → 会場 → 長崎駅 → 武雄温泉駅 →  
(長崎電軌)

博多駅 → 名古屋駅 → 豊橋駅 → 三河田原駅

1 日目

三河田原駅 → 新豊橋駅(渥美線)	520 円 (電)
豊橋駅 → 名古屋駅(新幹線こだま指定席 72.4km)	} (運賃)11,780 円 (電) * 往復割引対応 (特急券)6,500 円 (電) * 豊橋 → 博多間 (指定席) 530 円 (電) (のぞみ割増)530 円 (電) (特急券)3,190 円 (電) * 博多 → 長崎 (長崎電軌)100 円 (電)
名古屋駅 → 博多駅(新幹線のぞみ指定席 808.9km)	
博多駅 → 武雄温泉(リレーかもめ指定席 81.9km)	
武雄温泉 → 長崎駅(新幹線かもめ指定席 69.6km)	
長崎駅 → 五島町(長崎電軌)	

2 日目

五島町 → 長崎駅(長崎電軌)	100 円 (電)
長崎駅 → 五島町(長崎電軌)	100 円 (電)

3 日目

五島町 → 長崎駅(長崎電軌)	(長崎電軌)100 円 (電)
長崎駅 → 武雄温泉(新幹線かもめ指定席 69.6km)	} (運賃)11,780 円 (電) * 往復割引対応 (特急券)6,500 円 (電) * 博多間 → 豊橋 (指定席) 530 円 (電) (のぞみ割増)530 円 (電) (特急券)3,190 円 (電) * 長崎 → 博多 (渥美線) 520 円 (電)
武雄温泉 → 博多駅(リレーかもめ指定席 81.9km)	
博多駅 → 名古屋駅(新幹線のぞみ指定席 808.9km)	
名古屋駅 → 豊橋駅(新幹線こだま指定席: 72.4km)	
新豊橋駅 → 三河田原駅(渥美線)	

日当(2,000 円 × 2 日、滞在 500 円 × 1 日)	4,500 円
宿泊費(12,000 円 × 2 日)	24,000 円
研修費	10,000 円

## 第84回全国都市問題会議

中神靖典

令和4年10月13日・14日に出島メッセ長崎で開催。

10月13日

基調講演「民間主導の地域創生の重要性」

株式会社ジャパネットホールディングス代表取締役兼 CEO 高田旭人

まだ誰も気づいていない地域の魅力的な資源を見つけ、それを徹底的に磨き上げ、全国各地の方に伝えていくことで、長崎の活性化に貢献できると考えている。行政と民間の違いについて、行政は誰一人として躓き立ち止まることがないように福祉を充実させ、皆が平等公平に恩恵を受けられる環境づくりを目指しているが、民間の役割は「幸福の最大化」であり、社会全体における幸せの総量を増やすことである。長崎スタジアムシティプロジェクトは、最終的には長崎県内の人口が増加し、出生率も上がり、地域経済も良い方向に動き、地域への誇りや自分自身の幸福度も上昇する姿を目指したい。

主報告「長崎市の魅力あるまちづくり」 長崎県長崎市長 田上富久

「価値を見つける」という視点では、軍艦島が挙げられる。日常生活の1ページに過ぎなかったものが、産業革命遺産としての切り口で見直したときに、世界的な価値が見えてきた代表例である。特別な何かを作るのではなく、暮らす人にとっては身近にありながらも、気づいていない価値に気づくことで、まちへの愛着につながるものである。まちにあるものの価値を磨く取り組みの積み重ねが、まちの価値をさらに高めることにつながる。これまでネガティブに捉えられていた地域課題をポジティブに捉え直すことにより、地域活性化などにつながっていく事例は、これからの地方都市の政策のヒントになっていくと考える。

「地域との新しい関わり方・関係人口」 島根県立大学地域政策学部准教授 田中輝美

首都圏生まれ、首都圏育ちの若い世代が増えたことで、「ふるさと」を持たない「ふるさと難民」が増えている。地域に残るつながりが、若い世代を引き付ける新しい資源となった。こうして、関係人口が生まれてきた。人とのつながり、関係を求めているというニーズがあり、人との「関係」を重視する必要がある。

「ビジョンを活かしたまちづくり」 山形県山形市長 佐藤孝弘

山形市では、選ばれるまちとなるための基本的な考え方として「健康医療先進都市」「文化創造都市」を2大ビジョンとして積極的な施策展開を行っている。「歩くこと」「身体性」に着目し、健康でかつ魅力的な居心地の良いまちづくりを進めている。「徒歩+自転車・公共交通・コミュニティ交通」をうまく組み合わせ、自家用車に頼らなくても生活できるまちづくりを進めていく。文化芸術活動を通じて、持続的発展を目指す。



「交流の産業化を支える景観まちづくり」

一般社団法人地域力創造デザインセンター代表理事 高尾忠志

現代において地域が迎えている課題は、これまでの縦割りの組織体制による分野ごとの施策実施では到底太刀打ちできない。縦割り制度の中で、分野の境界を越えビジョンを持って仕事に取り組む人材が自治体に多く存在している地域が、分野融合型のクリエイティブな成果を出し、より良い地域になっていく。まちづくりを行うのは人であり、職員育成という「人的資本」、人のつながりという「社会関係資本」に投資する自治体戦略賭しても「景観専門監」は、非常に意義深い仕組みである。

10月14日

パネルディスカッション

テーマ 「個性を活かして選ばれるまちづくり（何度も訪ねたい場所になるために）」

コーディネーター 東京都立大学法学部教授 大杉 覚

パネリスト ゆとり研究所所長 野口 智子

山梨大学生命環境学部教授 田中 敦

NPO 法人長崎コンプラドール理事長 桐野 耕一

岐阜県飛騨市長 都竹 淳也

兵庫県伊丹市長 藤原 保幸

# 政務活動費領収書等貼付用紙

(領収書は重ならないように貼付)

領収書 貼付用 紙No.	2
--------------------	---

領収書金額	10000 円
-------	---------

①	研究研修費
2	調査旅費
3	広報費
4	広聴費
5	要請・陳情活動費
6	会議費
7	資料作成費
8	資料購入費
9	事務費
10	その他の経費

No.0730

## 会議参加費 領収書

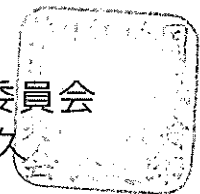
中神靖典 様

金 10,000円

但、「第84回全国都市問題会議」に係る会議参加費として  
上記正に領収いたしました。

令和4年10月13日

第84回全国都市問題会議実行委員会  
会長 田上富久



## 旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会 派 代表者	自由民主党 田原市議団 大竹正章	経 理 責任者	村上 誠			
旅行期間	令和4年10月12日から 令和4年10月14日まで	2泊 3日	視察代表	岡本 復 稔			
旅行先	長崎県長崎市 出島メッセ長崎 (〒850-0058 長崎県長崎市尾上町4番地1)						
宿泊地	東横 INN 長崎駅前 (〒850-0036 長崎県長崎市五島町5-45)						
視察・研修 等 目 的	第84回全国都市問題会議						
行 程	10月12日(水) 前泊 10月13日(木) 全国都市問題会議参加 10月14日(金) 〃  詳細は別紙のとおり						
経路 別紙のとおり	旅 費						
	鉄道賃		4	6	5	0	0
	車 賃						
	航空賃						
	日 当		4	5	0	0	
	宿泊料		2	4	0	0	0
	研修費		1	0	0	0	0
	合 計		8	5	0	0	0

※太枠内へ所要事項を記入すること。  
経路及び旅費については、事務局にて記入。

別紙

行程

1 日目：三河田原駅 → 豊橋駅 → 名古屋駅 → 博多駅 → 武雄温泉駅 → 長崎駅

徒歩 → 長崎駅 → 五島町 → ホテル  
(長崎電軌)

2 日目：ホテル → 五島町 → 長崎駅 → 会場 → 長崎駅 → 五島町 → ホテル  
(長崎電軌) (長崎電軌)

3 日目：ホテル → 五島町 → 長崎駅 → 会場 → 長崎駅 → 武雄温泉駅 →  
(長崎電軌)

博多駅 → 名古屋駅 → 豊橋駅 → 三河田原駅

1 日目

三河田原駅 → 新豊橋駅(渥美線)	520 円 (電)
豊橋駅 → 名古屋駅(新幹線こだま指定席 72.4km)	} (運賃)11,780 円 (電) * 往復割引対応 (特急券)6,500 円 (電) * 豊橋 → 博多間 (指定席) 530 円 (電) (のぞみ割増)530 円 (電) (特急券)3,190 円 (電) * 博多 → 長崎 (長崎電軌)100 円 (電)
名古屋駅 → 博多駅(新幹線のぞみ指定席 808.9km)	
博多駅 → 武雄温泉(リレーかもめ指定席 81.9km)	
武雄温泉 → 長崎駅(新幹線かもめ指定席 69.6km)	
長崎駅 → 五島町(長崎電軌)	

2 日目

五島町 → 長崎駅(長崎電軌)	100 円 (電)
長崎駅 → 五島町(長崎電軌)	100 円 (電)

3 日目

五島町 → 長崎駅(長崎電軌)	(長崎電軌)100 円 (電)
長崎駅 → 武雄温泉(新幹線かもめ指定席 69.6km)	} (運賃)11,780 円 (電) * 往復割引対応 (特急券)6,500 円 (電) * 博多間 → 豊橋 (指定席) 530 円 (電) (のぞみ割増)530 円 (電) (特急券)3,190 円 (電) * 長崎 → 博多 (渥美線) 520 円 (電)
武雄温泉 → 博多駅(リレーかもめ指定席 81.9km)	
博多駅 → 名古屋駅(新幹線のぞみ指定席 808.9km)	
名古屋駅 → 豊橋駅(新幹線こだま指定席: 72.4km)	
新豊橋駅 → 三河田原駅(渥美線)	

日当(2,000 円 × 2 日、滞在 500 円 × 1 日)	4,500 円
宿泊費(12,000 円 × 2 日)	24,000 円
研修費	10,000 円

## 視察、研修報告書

田原市議会議長 殿

岡本 禎稔

日時 令和4年10月13日(木)～14日(金)

### 第84回 全国都市問題会議

長崎県長崎市 出島メッセ長崎

基調講演 「民間主導の地域創生の重要性」

(株) ジャパネットホールディングス代表取締役社長兼 CEO 高田 旭人 氏

#### ジャパネットと地域創生

2017年よりプロサッカークラブ「V・ファーレン長崎」の運営をはじめたことが、地域創生をジャパネットたかたが強く思うようになった。プロサッカークラブの運営を通して、通信販売のみならず、スポーツやまちづくりにおいても、事業方針として掲げてきた「見つける」「磨く」「伝える」を活かすことができるのではないかと考えた。誰も気づいていない地域の魅力的な資源を見つけ、それを徹底的に磨き上げ、全国各地の方に伝えていくことで、長崎の活性化に貢献できると考える。現在、ジャパネットグループでは、通信販売事業に並ぶ2本目の柱として、スポーツ・地域創生事業を掲げている。現在ジャパネットは長崎市内においてプロジェクトを計画しているが、長崎スタジアムシティをハブに長崎県全域を盛り上げたいので、市街への観光客の誘致もいっしょに企画したいと考えている。行政だからできる事、民間だからできる事、今こそ官民そしてそこに住む地域住民の方々と連携し、手を取り合いながら、長崎をはじめ、地域全体の幸福の送料を増やしていきたい。

主報告 「長崎市の魅力あるまちづくり」

長崎市長 田上 富久 氏

長崎市は、九州の西端、長崎県の南部に位置し、総面積は405.86km<sup>2</sup>、人口は約40万人を有する中核市である。長崎港内の平坦な中心部の地区には、商業・業務機能が集積し、長崎港を中心としたすり鉢状の地形に形成された斜面市街地とあいまって、独自の都市景観が形成されている。第二次世界大戦には広島に続き原子爆弾による惨禍を被ったが、戦後は、世界に2つしかない戦争被爆地として、核兵器廃絶と世界恒久平和を訴える国際平和文化都市としての役割を果たしている。長崎市では4つの視点、(1価値を見つける2価値に気づく3価値を磨く4価値を生み出す)で価値をみつめなおしており、その町の価値に

気づく契機は、やはり「交流」が欠かせない。そのまちに根づき、暮らす「土の人」とそのまちを訪れる「風の人」が、それぞれで感じるだけでなく、ともにまちを感じ、交流することにより、暮らしている中では見つけにくいその都市ならではの自然、文化、歴史などの新たな価値が見つかり、磨かれ、まちの価値が創られていく。交流の中で価値を見つめ直し、その先にある「都会でもなく、田舎でもない、ちょうどい長崎らしい暮らしやすさ」＝「長崎ライフ」がより豊かなものになりことで、まちで暮らす人にも、まちを訪れる人にも魅力的なまちとなり、持続可能な地域社会の硬直につながるものとかんがえている。

一般報告 「地域との新しい関わり方・関係人口」

島根県立大学地域政策学部准教授 田中 輝美 氏

地域と関係人口を、野球のチームに例えて考える。そうすると関係人口は「助っ人外国人」となる。いい助っ人外国人に来てもらうには、自分たちのチームの課題と戦力を踏まえてどんな助っ人外国人が必要なかをイメージしたうえで募り、力をあわせてともにいいチームをつくろうとする姿勢が求められる。関係人口政策に取り組む、または取り組もうとしている自治体関係者に今一度聞いてほしいのは、自分たちのチームの課題や戦力を把握することなく、必要な助っ人外国人像も見えないまま、「内部の選手が減っているんだから、とりあえず1人でも多くの助っ人外国人を呼んできた方がいい」という「とりあえず関係人口」に陥ってないか、ということだ。関わりがいのあるチームとは、どんなチームで、どうつくっていけばいいのか、「選ばれる」まちを目指した時の第一歩は、この問いから始まるのではないか。

一般報告 「ビジョンを活かしたまちづくり」～選ばれる山形市を目指して

山形県山形市長 佐藤 孝弘 氏

山形市では、選ばれるまちとなる2大ビジョンを掲げている。「健康医療先進都市」「文化創造都市」。この2大ビジョンとして積極的な施策展開を行っている。「健康医療先進都市」を目指す山が達しが最も重視しているのが市民の健康寿命の延伸です。もう一つの将来ビジョンが「文化創造都市」です。山形市では、文化遺産に多くの人々が関わることで新たな価値を創造する「文化創造都市」の概念を広く市民の皆様と共有すべく、「山形市文化創造都市推進条例」を制定し、令和4年4月から施行した。

一般報告 「交流の産業化を支える景観まちづくり～長崎市景観専門監の取り組み

一般社団法人地域力創造デザインセンター代表理事 高尾 忠志 氏

漁業、炭鉱業、造船産業、近代以降に長崎市の地域経済を支えてきた産業が縮小し、長崎市は我が国の自治体でもトップクラスの勢いで人口が減少している。長崎市民の暮らしと

経済を支える新しい産業を確立し、持続可能な地域社会と地域経済を構築することが、長崎市のまちづくりにおいて重要な課題となっている。これらは全国の自治体の皆様に共通する現代的な課題である。このような背景から、長崎市の田上富久市長は、まちづくりの戦略として「交流の産業化」を掲げ、観光交流産業を新しい基幹産業として位置づけている。それは、単に我が国全体が第二次産業から第三次産業に移行していく時代のトレンドや長崎市の観光客数が2005年以降増加している統計的な裏づけだけでなく、1571年のいポルトガル船がやってきて以来、唐人屋敷、出島、長崎居留地、上海航路の時代等このまちが海外に開かれた交通交易の場であったからこそ都市として成立してきた、という「地域オリジン（原点）」を頼みた確かなビジョンといえる。いうまでもなく「オリジナリティ（個性）」の語源は「おりじん（原点）」であり、オリジンをオリジナリティに育て上げる地域戦略を実現することで、長崎のまちは長崎らしい個性を持った選ばれる地域となることができる。

パネルディスカッション 「個性を活かして選ばれるまちづくり」

～何度も訪れたい場所になるために～

コーディネーター

東京都立大学法学部教授 大杉 覚 氏

パネリスト

ゆとり研究所所長 野口 智子 氏

山梨大学生命環境学部教授 田中 敦 氏

NPO 法人長崎コンプラドール理事長 桐野 耕一 氏

岐阜県飛騨市長 都竹 淳也

兵庫県伊丹市長 藤原 保幸

まちづくりとは、「それぞれの地域で醸成されてきた。根っこにある地域価値を再確認しつつ、そこを起点にして、ここからの未来図を地域で思い描き、その実現を試みようとする、価値実現のプロセス」だと定式化して考えることができる。「選ばれる」まちづくりを考える際にも、あえてこの「根っこにある地域価値」を出発点に問いたいと思う。「根っこにある地域価値」とはなにか、地域づくりの研究者である岡崎昌之さんは、まちづくりは地域の歴史に加えて地域価値の模索が重要だとします。岡崎さんによれば、地域価値とは、地域の資源や宝、すなわち、「外に対して誇りに思っている古い神社や景観、昔から伝わる祭りや郷土食といったものに関心がむけられてしまう」が、そういったものの陰にある、「じつはそこに暮らす人々の日常を支え、暮らしに欠かせない大切なもの」を支える価値のことである。歴史のなかで育まれた地域価値は、それを基盤に暮らしや交流を通じて地域資源に磨きをかけ、それらが地域の誇りや宝として結晶化し具体的な姿を表現してきたと捉えることができる。地域価値は、地域づくりの”根っこ”にあたるのだから、その地域での暮らしぶりや地域資源のあり様と相互に影響を与え合ってきた関係にある。

# 政務活動費領収書等貼付用紙

(領収書は重ならないように貼付)

領収書 貼付用 紙No.	3
--------------------	---

領収書金額	10,000円
-------	---------

①	研究研修費
2	調査旅費
3	広報費
4	広聴費
5	要請・陳情活動費
6	会議費
7	資料作成費
8	資料購入費
9	事務費
10	その他の経費

No.0690

## 会議参加費 領収書

自由民主党 用原市議員  
 国本裕穂様

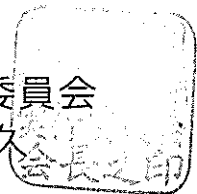
金 10,000円

但、「第84回全国都市問題会議」に係る会議参加費として  
上記正に領収いたしました。

令和4年10月13日

第84回全国都市問題会議実行委員会

会長 田上富久





## 旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会 派 代表者	自由民主党 田原市議団 大竹正章	経 理 責任者	村上 誠			
旅行期間	令和4年10月12日から 令和4年10月14日まで	2泊 3日	視察代表	村上 誠			
旅行先	長崎県長崎市 出島メッセ長崎 (〒850-0058 長崎県長崎市尾上町4番地1)						
宿泊地	東横 INN 長崎駅前 (〒850-0036 長崎県長崎市五島町5-45)						
視察・研修 等 目 的	第84回全国都市問題会議						
行 程	10月12日(水) 前泊 10月13日(木) 全国都市問題会議参加 10月14日(金)                   "  詳細は別紙のとおり						
経路 別紙のとおり	旅 費						
	鉄道賃		4	6	4	0	0
	車 賃						
	航空賃						
	日 当			4	5	0	0
	宿泊料		2	4	0	0	0
	研修費		1	0	0	0	0
	合 計		8	4	9	0	0

※太枠内へ所要事項を記入すること。  
経路及び旅費については、事務局にて記入。

別紙

行程

1日目: 豊島駅 → 豊橋駅 → 名古屋駅 → 博多駅 → 武雄温泉駅 → 長崎駅

徒歩 → 長崎駅 → 五島町 → ホテル  
(長崎電軌)

2日目: ホテル → 五島町 → 長崎駅 → 会場 → 長崎駅 → 五島町 → ホテル  
(長崎電軌) (長崎電軌)

3日目: ホテル → 五島町 → 長崎駅 → 会場 → 長崎駅 → 武雄温泉駅 →  
(長崎電軌)

博多駅 → 名古屋駅 → 豊橋駅 → 豊島駅

1日目

豊島駅 → 新豊橋駅(渥美線)	470円 (電)
豊橋駅 → 名古屋駅(新幹線こだま指定席 72.4km)	} (運賃)11,780円 (電) * 往復割引対応 (特急券)6,500円 (電) * 豊橋 → 博多間 (指定席) 530円 (電) (のぞみ割増)530円 (電) (特急券)3,190円 (電) * 博多 → 長崎 (長崎電軌)100円 (電)
名古屋駅 → 博多駅(新幹線のぞみ指定席 808.9km)	
博多駅 → 武雄温泉(リレーかもめ指定席 81.9km)	
武雄温泉 → 長崎駅(新幹線かもめ指定席 69.6km)	
長崎駅 → 五島町(長崎電軌)	

2日目

五島町 → 長崎駅(長崎電軌)	100円 (電)
長崎駅 → 五島町(長崎電軌)	100円 (電)

3日目

五島町 → 長崎駅(長崎電軌)	(長崎電軌)100円 (電)
長崎駅 → 武雄温泉(新幹線かもめ指定席 69.6km)	} (運賃)11,780円 (電) * 往復割引対応 (特急券)6,500円 (電) * 博多間 → 豊橋 (指定席) 530円 (電) (のぞみ割増)530円 (電) (特急券)3,190円 (電) * 長崎 → 博多 (渥美線) 470円 (電)
武雄温泉 → 博多駅(リレーかもめ指定席 81.9km)	
博多駅 → 名古屋駅(新幹線のぞみ指定席 808.9km)	
名古屋駅 → 豊橋駅(新幹線こだま指定席: 72.4km)	
新豊橋駅 → 豊島駅(渥美線)	

日当(2,000円×2日、滞在500円×1日)	4,500円
宿泊費(12,000円×2日)	24,000円
研修費	10,000円

## 全国都市問題会議報告書

氏名 自由民主党田原市議団 村上 誠

会議日	令和4年10月13日(木)～14日(金)
会場	出島メッセ長崎
会議目的	第84回全国都市問題会議

《参考になった点》

### 【テーマ】個性を活かして「選ばれる」まちづくり

～何度もおとづれたい場所になるために～

全国から市長、議員、議会事務局等2000人を超える方々が参加した。

基調講演として(株)ジャパネットホールディングス代表 高田旭人氏から、民間主導の地域創生の重要性があり、そして以下の方々からの報告があった。

- ・主報告として 長崎市長 田上富久氏
- ・一般報告として 3名 島根県立大 田中輝美氏、 山形市長 佐藤孝弘氏  
社団法人地域力創造センター代表 高尾忠志氏

報告の内容は、長崎市長田上富久氏の「魅力あるまちづくり」をはじめ「地域との新しい関わり方・関係人口」、「ビジョンを活かしたまちづくり」、「交流の産業化と景観まちづくり」と様々な切り口で実践し結果の報告がされた。

数多くの報告の中で、(株)ジャパネットホールディングス代表高田旭人氏の「民間主導の地域創生の重要性」と島根県立大田中輝美氏の「何度も訪れたい場所」2つの報告に興味をもった

高田氏の主な内容は、2017年プロサッカークラブの運営を始めたことを契機に地域創生への想いを強くしたという。長崎駅前にスタジアム・アリーナや商業施設、ホテル等で構成する「長崎スタジアムシティプロジェクト」を進め2024年開業を目指している。

長崎を盛り上げたいという想いのほか、行政と民間の役割の違いを充分承知し、長崎スタジアムシティプロジェクトの目指すところやアイデアの企画・検討を実施している。

また、田中輝美氏の主な内容は、若い世代との関係人口のサブタイトルの中で、地方同士が人口を奪い合っても仕方ない。まちを面白くしていけるのは、まちに住んでいる人だけでない。

だからこそ人口のシェアをすること、新しいインフラが必要という。

個性を活かして「選ばれる」まちづくりのテーマで開催された今回の全国都市問題会議で感じたことは、テーマをさらに深堀すると「また訪れたい場所、何度も訪れたい場所」魅力ある地域づくりが必要であると思う。

そのためには、地域外人に継続的・定期的におとづれてもらうための機会や仕組みづくり、何度も訪れたい場所になるために、地域特有の資源の活用、交流・参加の機会をつくる必要があると思う。

# 政務活動費領収書等貼付用紙

(領収書は重ならないように貼付)

領収書貼付用紙No.	4
------------	---

領収書金額	10,000円
-------	---------

①	研究研修費
2	調査旅費
3	広報費
4	広聴費
5	要請・陳情活動費
6	会議費
7	資料作成費
8	資料購入費
9	事務費
10	その他の経費

No.0735

## 会議参加費 領収書

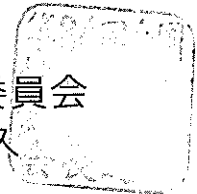
自由民主党田原市議員  
 村上 誠 様

金 10,000円

但、「第84回全国都市問題会議」に係る会議参加費として上記正に領収いたしました。

令和4年 10月 13日

第84回全国都市問題会議実行委員会  
 会長 田上 富久



## 旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会 派 代表者	自由民主党 田原市議団 大竹正章	経 理 責任者	村上 誠				
旅行期間	令和4年10月12日から 令和4年10月14日まで	2泊 3日	視察代表	古川美栄				
旅行先	長崎県長崎市 出島メッセ長崎 (〒850-0058 長崎県長崎市尾上町4番地1)							
宿泊地	東横 INN 長崎駅前 (〒850-0036 長崎県長崎市五島町5-45)							
視察・研修 等 目 的	第84回全国都市問題会議							
行 程	10月12日(水) 前泊 10月13日(木) 全国都市問題会議参加 10月14日(金)                    "  詳細は別紙のとおり							
経路 別紙のとおり	旅 費							
	鉄道賃		4	6	5	0	0	
	車 賃							
	航空賃							
	日 当			4	5	0	0	
	宿泊料		2	4	0	0	0	
	研修費		1	0	0	0	0	
合 計		8	5	0	0	0		

※太枠内へ所要事項を記入すること。  
経路及び旅費については、事務局にて記入。

別紙

行程

1 日目：三河田原駅 → 豊橋駅 → 名古屋駅 → 博多駅 → 武雄温泉駅 → 長崎駅

徒歩 市電 徒歩  
→ 長崎駅 → 五島町 → ホテル  
(長崎電軌)

2 日目：ホテル → 五島町 → 長崎駅 → 会場 → 長崎駅 → 五島町 → ホテル  
(長崎電軌) (長崎電軌)

3 日目：ホテル → 五島町 → 長崎駅 → 会場 → 長崎駅 → 武雄温泉駅 →  
(長崎電軌)

博多駅 → 名古屋駅 → 豊橋駅 → 三河田原駅

1 日日

三河田原駅 → 新豊橋駅(渥美線)	520 円 (電)
豊橋駅 → 名古屋駅(新幹線こだま指定席 72.4km)	(運賃)11,780 円 (電) * 往復割引対応 (特急券)6,500 円 (電) * 豊橋 → 博多間 (指定席) 530 円 (電) (のぞみ割増)530 円 (電) (特急券)3,190 円 (電) * 博多 → 長崎 (長崎電軌)100 円 (電)
名古屋駅 → 博多駅(新幹線のぞみ指定席 808.9km)	
博多駅 → 武雄温泉(リレーかもめ指定席 81.9km)	
武雄温泉 → 長崎駅(新幹線かもめ指定席 69.6km)	
長崎駅 → 五島町(長崎電軌)	

2 日日

五島町 → 長崎駅(長崎電軌)	100 円 (電)
長崎駅 → 五島町(長崎電軌)	100 円 (電)

3 日日

五島町 → 長崎駅(長崎電軌)	(長崎電軌)100 円 (電)
長崎駅 → 武雄温泉(新幹線かもめ指定席 69.6km)	(運賃)11,780 円 (電) * 往復割引対応 (特急券)6,500 円 (電) * 博多間 → 豊橋 (指定席) 530 円 (電) (のぞみ割増)530 円 (電) (特急券)3,190 円 (電) * 長崎 → 博多 (渥美線) 520 円 (電)
武雄温泉 → 博多駅(リレーかもめ指定席 81.9km)	
博多駅 → 名古屋駅(新幹線のぞみ指定席 808.9km)	
名古屋駅 → 豊橋駅(新幹線こだま指定席: 72.4km)	
新豊橋駅 → 三河田原駅(渥美線)	

日当(2,000 円 × 2 日、滞在 500 円 × 1 日)	4,500 円
宿泊費(12,000 円 × 2 日)	24,000 円
研修費	10,000 円

# 視察・研修等報告書

令和4年 10月 17日

田原市議会議長 殿

会派名 自由民主党田原市議団  
 議員名 古川美栄

下記のとおり、視察・研修等が終了したので報告します。

	会派 代表者	大竹正 章	経理 責任者	村上誠
期 間	令和4年10月13日(木)～令和4年10月14日(金)			
視察・研修 等先	長崎市			
視察・研修 等の目的	第84回全国都市問題会議 個性を活かして「選ばれる」まちづくり			
視察先等 面会者	長崎市長田上富久氏・ジャパンネット高田旭人氏・島根県立 大田中輝美氏・山形市長佐藤孝弘・地域力創造デ高尾忠志氏			
概要及び所見	<p>田上富久市長 前市長の射殺により急遽職員から市長に接戦の末当選された方ですが職員の時からアイデアマンで広報や観光で力発揮していました、「長崎さるく博」の提案者。当選してもまちあるきガイドを行い観光客は大変驚いた。続けて来ていただけるよう観光の街づくりに50～100年サイクルで街を作り続けている。</p> <p>高田旭人ジャパンネット社長 長崎スタジアムシティー企画検討している。ホテルや公園、保育園大学を誘致、サッカーやバスケの少年スクールプラス親たちが喫茶など時間を過ごせる場等、民間視点からのアイデアが満載である。</p> <p>市長と社長のアイデア合作です。</p> <p>14日の講演でもう一人のキーマンがいることを知りました、「長崎さるく博」市民プロデューサー桐野耕一長崎コンプラドール理事長です。長崎さるく博を契機にまち歩きから観光客にとっての長崎にしようとして眼鏡橋や平和公園のライトアップ、稲佐山の電波塔ライトアップ、市民が観光のためにアイデアを出し続けています。</p>			

# 政務活動費領収書等貼付用紙

(領収書は重ならないように貼付)

領収書 貼付用 紙No.	5
--------------------	---

領収書金額	10,000円
-------	---------

1	研究研修費
2	調査旅費
3	広報費
4	広聴費
5	要請・陳情活動費
6	会議費
7	資料作成費
8	資料購入費
9	事務費
10	その他の経費

No.0757

## 会議参加費 領収書

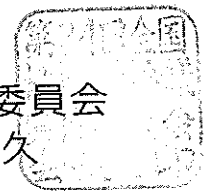
自由民主党 田原市議団  
古川美栄 様

金 10,000円

但、「第84回全国都市問題会議」に係る会議参加費として  
上記正に領収いたしました。

令和4年 10 月 13 日

第84回全国都市問題会議実行委員会  
 会長 田上 富久





## 旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会 派 代表者	自由民主党 田原市議団 大竹正章	経 理 責任者	村上 誠			
旅行期間	令和4年10月13日から 令和4年10月14日まで	1泊 2日	視察代表	仲谷政弘			
旅行先	長崎県長崎市 出島メッセ長崎 (〒850-0058 長崎県長崎市尾上町4番地1)						
宿泊地	東横 INN 長崎駅前 (〒850-0036 長崎県長崎市五島町5-45)						
視察・研修 等 目 的	第84回全国都市問題会議						
行 程	10月13日(木)前泊 10月14日(金)全国都市問題会議参加  詳細は別紙のとおり						
経路 別紙のとおり	旅 費						
	鉄道賃	4	6	3	0	0	0
	車 賃						
	航空賃						
	日 当		2	5	0	0	0
	宿泊料	1	2	0	0	0	0
	研修費	1	0	0	0	0	0
	合 計	7	0	8	0	0	0

※太枠内へ所要事項を記入すること。  
 経路及び旅費については、事務局にて記入。

別紙

行程

1日目 三河田原駅 → 豊橋駅 → 名古屋駅 → 博多駅 → 武雄温泉駅 → 長崎駅

徒歩 市電 徒歩  
 → 長崎駅 → 五島町 → ホテル  
 (長崎電軌)

2日目: ホテル → 五島町 → 長崎駅 → 会場 → 長崎駅 → 武雄温泉駅 →

博多駅 → 名古屋駅 → 豊橋駅 → 三河田原駅

1日目

三河田原駅 → 新豊橋駅(渥美線)	520円(電)
豊橋駅 → 名古屋駅(新幹線こだま指定席 72.4km)	(運賃)11,780円(電) *往復割引対応 (特急券)6,500円(電) *豊橋 → 博多間 (指定席) 530円(電) (のぞみ割増)530円(電) (特急券)3,190円(電) *博多 → 長崎 (長崎電軌)100円(電)
名古屋駅 → 博多駅(新幹線のぞみ指定席 808.9km)	
博多駅 → 武雄温泉(リレーかもめ指定席 81.9km)	
武雄温泉 → 長崎駅(新幹線かもめ指定席 69.6km)	
長崎駅 → 五島町(長崎電軌)	

2日目

五島町 → 長崎駅(長崎電軌)	(長崎電軌)100円(電)
長崎駅 → 武雄温泉(新幹線かもめ指定席 69.6km)	(運賃)11,780円(電) *往復割引対応 (特急券)6,500円(電) *博多間 → 豊橋 (指定席) 530円(電) (のぞみ割増)530円(電) (特急券)3,190円(電) *長崎 → 博多 (渥美線) 520円(電)
武雄温泉 → 博多駅(リレーかもめ指定席 81.9km)	
博多駅 → 名古屋駅(新幹線のぞみ指定席 808.9km)	
名古屋駅 → 豊橋駅(新幹線こだま指定席: 72.4km)	
新豊橋駅 → 三河田原駅(渥美線)	

日当(2,000円×1日、滞在500円×1日)	2,500円
宿泊費(12,000円×1日)	12,000円
研修費	10,000円

田原市議会議員

仲谷 政弘

## 第 84 回 全国都市問題会議

開催日 令和 4 年 10 月 13 日 (木)・14 日 (金)

主催者 全国市長会

場 所 出島メッセ長崎

第 1 日 基調講演

豊橋・湖西・田原市議会議員会長の要望活動で静岡県庁に要望活動のため第 1 日は「欠席」

第 2 日 パネルディスカッション

「テーマ」 個性を活かして「選ばれる」まちづくり

野口 智子 ゆとり研究所所長

長崎県雲仙市において、「雲仙人プロジェクト」を立ち上げ、人が人を磨き、輝く人が人を呼ぶ、人間関係をつなぎ地域の活性化に一躍貢献している。公務員でもなく行政機関でもない民間の研究所と言う事で、人が集まってお互いを知り合う場所を組織の構成員にだけでなく、誰でも参加でき、会議でもなく研修でもなくサロン形式で行い（会議室では会議になるので行わない）交流を深めることにより、みんなで町おこしのアイデアを出し「わいわいワークショップ」を開催したりして、イベント「仙人ブース」を出したりするようになり、人と人を上手につなぐことは、市民主体のまちおこしにつながり地域再生に大きく関係してくると思いました。

田中 敦 山梨大学生命環境学部 教授

ワーケーション「ワーク（仕事）＋バケーション（休暇）」を組み合わせた造語  
ワーケーションの種類として、休暇型のワーケーションと業務型ワーケーションに分類され、休暇型ワーケーションは、休暇が主目的である点が特徴で、福利厚生の一環として取り入れられているケースが多い。業務型ワーケーションは業務主体で、地域課題解決型、合宿型、サテライトオフィス型に細分化されていますが、日本では働き方改革への意識改革の高まりと共に注目されてきた。特に新型コロナウイルス感染症の流行の影響もあり注目が高まりつつあり、企業・従業員・地域から見たワーケーションのメリット（有給休暇の促進、人材確保、生産性の向上、企業価値の向上、地方創生への寄与等）があり、またライフスタイルの変化に伴い導入が進みつつあるとの事。

桐野 耕一 NPO法人コンブラドール 理事長

2006年に日本初となる街歩き博覧会「長崎さるく博06」が開催されました。従来の観光スタイル（団体から個人、見物から体験型、男性主体から女性主体へと変化）が変わり始めていて、体験型の「まち歩き」を企画し、まちそのものをパビリオンに見立て、訪れる人々を市民がガイドすると言う「お節介なまち」ならではの企画をし、市民の人々がまち自慢をすることにより、何度でも訪れる長崎を盛り立てていくように盛り立てていくようにし、お金を掛けずに人が来る方法、長崎自慢をする方法、誰がやるの！市民がやる・を・16年前に企画し始めた。取り組み姿勢が参考になりました。

都竹 淳也 岐阜県飛騨市長

全国の倍のスピードでの人口減少と高齢化率40%程度で地域活動や祭り、介護医療、製造業やサービス業など地域産業の従事者の確保など困難になっている。そこで地域外の方々に、移住をしなくとも、心を寄せ、力を貸していただく方々と交流を深めることが、必ず地域の力になる考えで、2017年1月に「飛騨市ファンクラブ」を設立した。ファンクラブは年会費無料、入会金無料で、また様々な特典が受けられる仕組みになっている。会員数は2022年7月現在9900人で、いろいろな活動を行って行く中で生まれたのが、「関係人口」とされる「観光客以上、移住者未満」と定義される人々が生まれ、地域とのかかわり深くなり、飛騨市を助ける「ヒダスケ」が生まれ、地域の活性化に役立っている。人口減少は避けられない現象ですので、いかに活力のある取り組みをして、生き抜く知恵とエネルギーが生まれるようチャレンジしていくことが大事だと感じました。

藤原 保幸 兵庫県伊丹市長

伊丹市は空港とか日本遺産認定の「清酒の発祥の地」としての街ですが、市の知名度は少なく、神戸市の方と説明するような町でした。そこで、南野陽子、田中将大等多くの有名人「芸能人・プロスポーツ等」を観光大使でなく「市の大使」としてPRをしていただき知名度アップに貢献して頂いている。（市の大使制度として始めたのは全国初）

伊丹市は、交通機関に恵まれた地域でもあり、また、冬になれば渡り鳥が多く飛来する池があり自然環境にも恵まれた、人口20万人弱で神戸・大阪の衛星都市・ベットタウンとして栄えた市でもあるが、魅力ある街づくりを目指し、新しい市立伊丹ミュージアムを開館し図書館本館「ことば蔵」をはじめ、音楽ホールや文化ホール、近接する文化施設や周辺店舗などと連携し、にぎわい創出・何度でも訪れたいくなるまちづくりに挑戦している。2009年にスタートした。伊丹のまちで飲み歩き食べ歩きするイベント「伊丹まちなかバル」では、音楽ライブなどの同時開催もあり、中心市街地の100店舗が参加し、約1万人の来場者でにぎわったそうです。また、2022.11月に新庁舎（隈研吾の設計で酒蔵風も取り入れた感じの庁舎）が完成し、町の景観に配慮した庁舎ですので、観光にも役立つのではないかと思います。

以上

# 政務活動費領収書等貼付用紙

(領収書は重ならないように貼付)

領収書貼付用紙No.	6
------------	---

領収書金額	10,000 円
-------	----------

①	研究研修費
2	調査旅費
3	広報費
4	広聴費
5	要請・陳情活動費
6	会議費
7	資料作成費
8	資料購入費
9	事務費
10	その他の経費

No.1766

## 会議参加費 領収書

仲谷政弘 様

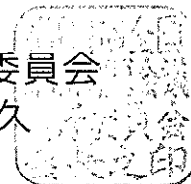
金 10,000円

但、「第84回全国都市問題会議」に係る会議参加費として上記正に領収いたしました。

令和4年 10 月 13 日

第84回全国都市問題会議実行委員会

会長 田上富久



## 旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会 派 代表者	自由民主党 田原市議団 大竹正章	経 理 責任者	村上 誠			
旅行期間	令和4年10月12日から 令和4年10月14日まで	2泊 3日	視察代表	木下 田嘉治			
旅行先	長崎県長崎市 出島メッセ長崎 (〒850-0058 長崎県長崎市尾上町4番地1)						
宿泊地	東横 INN 長崎駅前 (〒850-0036 長崎県長崎市五島町5-45)						
視察・研修 等 目 的	第84回全国都市問題会議						
行 程	10月12日(水) 前泊 10月13日(木) 全国都市問題会議参加 10月14日(金)                   "  詳細は別紙のとおり						
経路 別紙のとおり	旅 費						
	鉄道賃		4	6	5	0	0
	車 賃						
	航空賃						
	日 当			4	5	0	0
	宿泊料		2	4	0	0	0
	研修費		1	0	0	0	0
	合 計		8	5	0	0	0

※太枠内へ所要事項を記入すること。

経路及び旅費については、事務局にて記入。

別紙

行程

1日目：三河田原駅 → 豊橋駅 → 名古屋駅 → 博多駅 → 武雄温泉駅 → 長崎駅

徒歩 → 長崎駅 → 五島町 → ホテル  
(長崎電軌)

2日目：ホテル → 五島町 → 長崎駅 → 会場 → 長崎駅 → 五島町 → ホテル  
(長崎電軌) (長崎電軌)

3日目：ホテル → 五島町 → 長崎駅 → 会場 → 長崎駅 → 武雄温泉駅 →

博多駅 → 名古屋駅 → 豊橋駅 → 三河田原駅

1日目

三河田原駅 → 新豊橋駅(渥美線)	520円 (電)
豊橋駅 → 名古屋駅(新幹線こだま指定席 72.4km)	(運賃)11,780円 (電) * 往復割引対応 (特急券)6,500円 (電) * 豊橋 → 博多間 (指定席) 530円 (電) (のぞみ割増)530円 (電) (特急券)3,190円 (電) * 博多 → 長崎 (長崎電軌)100円 (電)
名古屋駅 → 博多駅(新幹線のぞみ指定席 808.9km)	
博多駅 → 武雄温泉(リレーかもめ指定席 81.9km)	
武雄温泉 → 長崎駅(新幹線かもめ指定席 69.6km)	
長崎駅 → 五島町(長崎電軌)	

2日目

五島町 → 長崎駅(長崎電軌)	100円 (電)
長崎駅 → 五島町(長崎電軌)	100円 (電)

3日目

五島町 → 長崎駅(長崎電軌)	(長崎電軌)100円 (電)
長崎駅 → 武雄温泉(新幹線かもめ指定席 69.6km)	(運賃)11,780円 (電) * 往復割引対応 (特急券)6,500円 (電) * 博多間 → 豊橋 (指定席) 530円 (電) (のぞみ割増)530円 (電) (特急券)3,190円 (電) * 長崎 → 博多 (渥美線) 520円 (電)
武雄温泉 → 博多駅(リレーかもめ指定席 81.9km)	
博多駅 → 名古屋駅(新幹線のぞみ指定席 808.9km)	
名古屋駅 → 豊橋駅(新幹線こだま指定席: 72.4km)	
新豊橋駅 → 三河田原駅(渥美線)	

日当(2,000円×2日、滞在500円×1日)	4,500円
宿泊費(12,000円×2日)	24,000円
研修費	10,000円

## 視察・研修等報告書

令和 4 年 1 1 月 1 8 日

田原市議会議長

会派名自由民主党田原市議団  
議員名森下 田嘉治

下記のとおり、視察・研修等が終了したので報告します。

	会 派 代表者	大竹 正章	経 理 責任者	村上 誠
期 間	令和 4 年 1 0 月 1 3 日 (木) ~ 令和 4 年 1 0 月 1 4 日 (金)			
視 察 ・ 研 修 等 先	第 8 4 回 全 国 都 市 問 題 会 議 出 島 メ ッ セ 長 崎			
視 察 ・ 研 修 等 の 目 的	個性を生かして「選ばれる」まちづくり ～何度も訪れたい場所になるために～			
視 察 先 等 面 会 者				
概 要 及 び 所 見	<p>1 0 月 1 3 日 (木)</p> <p>議題開設 はじめに</p> <p>今回の会議においては、「また訪れたい、何度でも訪れたい」魅力ある地域づくりのための基本的な考え方や処方箋を検討し、議論することとしたい。</p> <p>継続的・定期的に訪れてもらうことの意義</p> <p>地域に関心をもたせる仕組みとして、オンラインでの関わりの構築も重要である。ソーシャルメディアの活用などオンラインの接触率を高めることは、直接地域に赴いてもらう契機の一つになる。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、近年はバーチャルな交流がいっそう拡大・定着しつつある。その一方で、オンラインでなく、オンラインで会って交流することの価値に対する支持の根強さは、活動の「自粛」を経験して再認識された。自然、景観、施設、雰囲気など、そこに行かなければ味わうことができない交流や体験は、長期の自粛を経た今、改めて熱望されているといえる。</p>			



「何度も訪れたい」場所になるために

都市部と地方部に拠点をもち生活する。2拠点居住は、アフターコロナの社会でも定着していくと思われる。昨今の「働き方改革」の影響もあり、地方副業などもさらに広がっていくであろう。那珂川市の「こととば那珂川」事業は、公共施設「ナカイチ」を運営し、新たな仕事や働き方を志向する人、時代の変化に柔軟なアーティストやクリエイター、まちでの活動に意欲的な人、移住を考えている人が集まり、愚初的に新たなパートナーシップを結ぶ「場」を設けている。移動能力、情報収集能力を備えた若者が訪れ、交流な幅を広げるためにも、中心市街地などに設ける新しい「場」の存在意義は大きい。

基調講演「民間主導の地域創生の重要性」

株式会社ジャネットホールディングス

代表取締役 兼 CEO 高田 旭人氏

ジャパネットと地域創生

行政と民間の役割の違いについて

長崎スタジアムシティプロジェクトへの想いと目指すところ

長崎スタジアムシティプロジェクトで実行するアイデア集

行政に期待すること

主報告

長崎市の魅力あるまちづくりについて、長崎県長崎市長 田上 富久氏から取り組みの報告があった。

一般報告

田中 輝美 島根県立大学地域政策学部准教授から「地域との新しい関わり方・関係人口」についての報告がありました。

佐藤 孝弘 山形県山形市長からビジョンを生かしたまちづくりについて

一般社団法人地域力創造デザインセンター代表理事 高尾 忠司氏から「交流の産業化」を支える景観まちづくり

10月14日（金）

パネルディスカッション

コーディネーターは、大杉 寛 東京都立大学法学部教授

パネリストは、野口智子 ゆとり 研究所 所長、田中 敦 山形大学 生命環境学部教授、桐野 耕一 NPO 法人長崎コンプラドール 理事長、都築 淳也 岐阜県飛騨市長、藤原 保幸 兵庫県伊丹市

	<p>長 テーマ 個性を生かして「選ばれる」まちづくり ～何度も訪れたい場所になるために～ 以上のテーマでパネルディスカッションが行われた。</p>
--	--------------------------------------------------------------------------------------------

森下

参考様式第1号

# 政務活動費領収書等貼付用紙

(領収書は重ならないように貼付)

領収書貼付用紙No.	7
------------	---

領収書金額	10,000 円
-------	----------

①	研究研修費
2	調査旅費
3	広報費
4	広聴費
5	要請・陳情活動費
6	会議費
7	資料作成費
8	資料購入費
9	事務費
10	その他の経費

No.0729

## 会議参加費 領収書

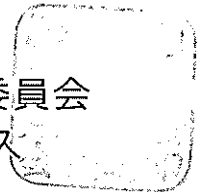
森下 田 嘉 治 様

金 10,000円

但、「第84回全国都市問題会議」に係る会議参加費として上記正に領収いたしました。

令和4年10月13日

第84回全国都市問題会議実行委員会  
会長 田上 富久



## 旅行命令簿・旅費請求書

<b>研究研修費、調査旅費</b> 要請・陳情活動	会 派 代表者	自由民主党 田原市議団 大竹正章	経 理 責任者	村上 誠			
旅行期間	令和4年10月12日から 令和4年10月14日まで	2泊 3日	視察代表	内藤喜久枝			
旅行先	長崎県長崎市 出島メッセ長崎 (〒850-0058 長崎県長崎市尾上町4番地1)						
宿泊地	東横 INN 長崎駅前 (〒850-0036 長崎県長崎市五島町5-45)						
視察・研修 等 目 的	第84回全国都市問題会議						
行 程	10月12日(水) 前泊 10月13日(木) 全国都市問題会議参加 10月14日(金)                    "  詳細は別紙のとおり						
経路 別紙のとおり	旅 費						
	鉄道賃		4	6	5	0	0
	車 賃						
	航空賃						
	日 当			4	5	0	0
	宿泊料		2	4	0	0	0
	研修費		1	0	0	0	0
	合 計		8	5	0	0	0

※太枠内へ所要事項を記入すること。

経路及び旅費については、事務局にて記入。

別紙

行程

1 日目：三河田原駅 → 豊橋駅 → 名古屋駅 → 博多駅 → 武雄温泉駅 → 長崎駅

渥美線
こだま
のぞみ
リレーかもめ
新幹線かもめ  
 徒歩 → 長崎駅 → 五島町 → ホテル  
 (長崎電軌)

2 日目：ホテル → 五島町 → 長崎駅 → 会場 → 長崎駅 → 五島町 → ホテル

徒歩
市電
徒歩
徒歩
市電
徒歩  
 (長崎電軌)

3 日目：ホテル → 五島町 → 長崎駅 → 会場 → 長崎駅 → 武雄温泉駅 →

徒歩
市電
徒歩
徒歩
新幹線かもめ
リレーかもめ  
 (長崎電軌)

のぞみ
こだま
渥美線  
 博多駅 → 名古屋駅 → 豊橋駅 → 三河田原駅

1 日目

三河田原駅→新豊橋駅(渥美線)	520 円 (電)
豊橋駅→名古屋駅(新幹線こだま指定席 72.4km)	(運賃)11,780 円 (電) * 往復割引対応 (特急券)6,500 円 (電) * 豊橋→博多間 (指定席) 530 円 (電) (のぞみ割増)530 円 (電) (特急券)3,190 円 (電) * 博多→長崎 (長崎電軌)100 円 (電)
名古屋駅→博多駅(新幹線のぞみ指定席 808.9km)	
博多駅→武雄温泉(リレーかもめ指定席 81.9km)	
武雄温泉→長崎駅(新幹線かもめ指定席 69.6km)	
長崎駅→五島町(長崎電軌)	

2 日目

五島町→長崎駅(長崎電軌)	100 円 (電)
長崎駅→五島町(長崎電軌)	100 円 (電)

3 日目

五島町→長崎駅(長崎電軌)	(長崎電軌)100 円 (電)
長崎駅→武雄温泉(新幹線かもめ指定席 69.6km)	(運賃)11,780 円 (電) * 往復割引対応 (特急券)6,500 円 (電) * 博多間→豊橋 (指定席) 530 円 (電) (のぞみ割増)530 円 (電) (特急券)3,190 円 (電) * 長崎→博多 (渥美線) 520 円 (電)
武雄温泉→博多駅(リレーかもめ指定席 81.9km)	
博多駅→名古屋駅(新幹線のぞみ指定席 808.9km)	
名古屋駅→豊橋駅(新幹線こだま指定席: 72.4km)	
新豊橋駅→三河田原駅(渥美線)	

日当(2,000 円×2 日、滞在 500 円×1 日)	4,500 円
宿泊費(12,000 円×2 日)	24,000 円
研修費	10,000 円

## 視察・研修等報告書

令和4年10月2/日

田原市議会議長 殿

会派名 自由民主党田原市議団  
議員名 内藤喜久枝

下記のとおり、視察・研修等が終了したので報告します。

	会派 代表者	大竹 正章	経理 責任者	村上誠
期 間	令和4年10月13日(木)～令和4年10月14日(金)			
視察・研修 等先	長崎県「出島メッセ長崎」			
視察・研修 等の目的	第84回 全国都市問題会議に参加			
視察先等 面会者	全国市長・市職員・全国市議会議員			
概要及び所 見	<p>10月13日 1日目 開会式 全国市長会長・開催市長・長崎県知事の挨拶</p> <p>基調講演 「民間主導の地域創生の重要性」 講師 株式会社ジャパネット代表取締役社長 高田旭人氏 行政と民間の役割の違いをしっかりと見極め、しかし両者とも市民のための施策を考えていくことが重要。現在長崎スタジアムシテーパープロジェクトを実施中だが、ただスタジアムを利用する事だけでなく、そこに集客した人達がそれ以外の楽しみ方ができるよう動線を考え、すべての老若男女が利用しやすいスペースにする構想を目指している。行政だからできること民間だからできることを一緒に考え、そこに住む地域住民の方々との連携し、地域全体の幸福の総量を増やしていきたい。</p> <p>主報告 「長崎市の魅力あるまちづくり」 講師 長崎市長 田上富久</p>			

長崎市の交流の歴史は、長崎学の創始者として名高い古賀十二郎が特別な歴史は港から始まったことが示されている。長崎は約 450 年前の開港から現在まで様々な人の交流を受け入れながら、文化も取り入れてきた。今後はこの町の魅力や価値を見直し、また価値を磨きさらには、付加価値を生み出すことが長崎を魅力的で、持続可能な地域社会の構築に繋がると思う。

一般報告 3例

「地域との新しい関わり方・関係人口」

講師 島根県立大学地域政策学部准恭二教授 田中輝美氏

「ビジョンを活かしたまちづくり」

講師 山形県山形市長 佐藤孝弘氏

「交流の産業化」を支える景観まちづくり

講師 地域力創造デザインセンター代表理事 高尾忠志氏

それぞれの地域社会の中で、地元と若者との交流人口の確立や地域発信による健康・文化・芸術を通じた人材育成や人材交流を実施した例を紹介された。

10月14日 2日目

パネルディスカッション

「テーマ」個性を活かして「選ばれる」まちづくり

「コーディネーター」東京都立大学法学部教授 大杉 寛氏

「パネリスト」

ゆとり研究所長

野口 智子氏

山梨大学生命環境学部教授

田中 敦氏

NPO 法人長崎コンプラドール理事長

桐野 耕一氏

岐阜県飛騨市長

都竹 淳也氏

兵庫県伊丹市長

藤原 保幸氏

各パネリストによる地域から、各地の特性を活かした伝統や、今まで見過ごしてきた地域の伝統・遺産の魅力に気づき発信してきた事例を紹介された。特に若者を巻き込んだ事例が多かった。

田原市においても、各地元の歴史や遺産・文化・伝統の発掘や、地元産業の地域色を取り入れ、いくつかのテーマを観光に繋げ、まずは交流人口の増加を図りたい。

喜久枝

# 政務活動費領収書等貼付用紙

(領収書は重ならないように貼付)

領収書 貼付用 紙No.	8
--------------------	---

領収書金額	10,000円
-------	---------

①	研究研修費
2	調査旅費
3	広報費
4	広聴費
5	要請・陳情活動費
6	会議費
7	資料作成費
8	資料購入費
9	事務費
10	その他の経費

No.0685

## 会議参加費 領収書

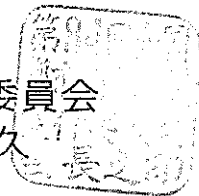
内藤 喜久枝 様

金 10,000円

但、「第84回全国都市問題会議」に係る会議参加費として  
上記正に領収いたしました。

令和4年 10月 13日

第84回全国都市問題会議実行委員会  
会長 田上富久





## 旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会 派 代表者	自由民主党 田原市議団 大竹正章	経 理 責任者	村上 誠			
旅行期間	令和4年10月12日から 令和4年10月14日まで	2泊 3日	視察代表	鈴木和基			
旅行先	長崎県長崎市 出島メッセ長崎 (〒850-0058 長崎県長崎市尾上町4番地1)						
宿泊地	東横 INN 長崎駅前 (〒850-0036 長崎県長崎市五島町5-45)						
視察・研修 等 目 的	第84回全国都市問題会議						
行 程	10月12日(水) 前泊 10月13日(木) 全国都市問題会議参加 10月14日(金)                    "  詳細は別紙のとおり						
経路 別紙のとおり	旅 費						
	鉄道賃		4	6	5	0	0
	車 賃						
	航空賃						
	日 当			4	5	0	0
	宿泊料		2	4	0	0	0
	研修費		1	0	0	0	0
	合 計		8	5	0	0	0

※太枠内へ所要事項を記入すること。  
経路及び旅費については、事務局にて記入。

別紙

行程

1日目：三河田原駅 → 豊橋駅 → 名古屋駅 → 博多駅 → 武雄温泉駅 → 長崎駅

渥美線      こだま      のぞみ      リレーかもめ      新幹線かもめ  
 徒歩      市電      徒歩  
 → 長崎駅 → 五島町 → ホテル  
 (長崎電軌)

2日目：ホテル → 五島町 → 長崎駅 → 会場 → 長崎駅 → 五島町 → ホテル

徒歩      市電      徒歩      徒歩      市電      徒歩  
 (長崎電軌)      (長崎電軌)

3日目：ホテル → 五島町 → 長崎駅 → 会場 → 長崎駅 → 武雄温泉駅 →

徒歩      市電      徒歩      徒歩      新幹線かもめ      リレーかもめ  
 (長崎電軌)

のぞみ      こだま      渥美線  
 博多駅 → 名古屋駅 → 豊橋駅 → 三河田原駅

1日目

三河田原駅→新豊橋駅(渥美線)	520円(電)
豊橋駅→名古屋駅(新幹線こだま指定席 72.4km)	} (運賃)11,780円(電) *往復割引対応 (特急券)6,500円(電) *豊橋→博多間 (指定席) 530円(電) (のぞみ割増)530円(電) (特急券)3,190円(電) *博多→長崎 (長崎電軌)100円(電)
名古屋駅→博多駅(新幹線のぞみ指定席 808.9km)	
博多駅→武雄温泉(リレーかもめ指定席 81.9km)	
武雄温泉→長崎駅(新幹線かもめ指定席 69.6km)	
長崎駅→五島町(長崎電軌)	

2日目

五島町→長崎駅(長崎電軌)	100円(電)
長崎駅→五島町(長崎電軌)	100円(電)

3日目

五島町→長崎駅(長崎電軌)	(長崎電軌)100円(電)
長崎駅→武雄温泉(新幹線かもめ指定席 69.6km)	} (運賃)11,780円(電) *往復割引対応 (特急券)6,500円(電) *博多間→豊橋 (指定席) 530円(電) (のぞみ割増)530円(電) (特急券)3,190円(電) *長崎→博多 (渥美線) 520円(電)
武雄温泉→博多駅(リレーかもめ指定席 81.9km)	
博多駅→名古屋駅(新幹線のぞみ指定席 808.9km)	
名古屋駅→豊橋駅(新幹線こだま指定席: 72.4km)	
新豊橋駅→三河田原駅(渥美線)	

日当(2,000円×2日、滞在500円×1日)	4,500円
宿泊費(12,000円×2日)	24,000円
研修費	10,000円

## 視察・研修等報告書

2022年10月19日

田原市議会議長 殿

会派名 自由民主党田原市議団  
議員名 鈴木和基

下記のとおり、視察・研修等が終了したので報告します。

	会派 代表者	大竹 正章	経理 責任者	村上誠
期 間	令和4年10月13日（木）～令和4年10月14日（金）			
視察・研修 等先	長崎県長崎市（第84回 全国都市問題会議）			
視察・研修 等の目的	個性を活かして「選ばれる」まちづくり —何度も訪れたい場所になるために—			
視察先等 面会者	株式会社ジャパネットホールディングCEO高田旭人氏 長崎市長 田上富久氏 島根県立大学地域政策学部教授 田中輝美氏 他			
概要及び所 見	<p>1. 民間主導の地域創生の重要性 高田旭人氏</p> <p>ジャパネットというと単純にテレビ通販の会社というイメージを持っていたが、その事業はただ売るだけでなく、創業者である高田明氏の「見つける」「磨く」「伝える」という方針を受け継ぎ、それを家電のみならず食品、そしてスポーツまで展開し、地域の活性化に繋げようとする。私としては、やはり民間主導の柱としてこの会社が長崎にあることが活性化成功の肝だと思う。そして忘れてならないのが「福山雅治」も一緒に郷土愛が強く、そこでタッグを組まれているのだから羨ましい。</p> <p>そういう点では、田原も有力な民間企業、そして郷土出身の有名人もいることから、今後の可能性には期待が持てる。</p>			

2. 魅力あるまちづくり 長崎市長 田上富久氏

そもそも長崎市は、様々な魅力がある街だと駅を降りてすぐ肌で感じる。実際、さまざまな著名な観光地もある。なのに田上市長は更に「価値を見つける」「価値に気づく」「価値を磨く」「価値を生み出す」というテーマを抱きながら、更なる観光資源の創出に取り組んでいる。

なかなか個性的な人物で、職員時代からアイディアマンとして活躍し、ジャパネットとの協同プロジェクトも軌道に乗っている。

3. 地域との新しい関わり方 島根大学 田中輝美氏

日本全体の人口のパイが減っていく中で、地方同士が人口を奪い合っても仕方ない。交流を増やして人口をシェアしようという取り組み事例の紹介。「週末住人」と呼ばれる、関係人口と呼ばれ、観光以上、定住未満と呼ばれる人たち。

しかし、こういった関係人口を増やすにも、インフラの整備が非常に大きな要素のひとつである。

この関係人口（交流人口）を増やしていこうとする試みは本市の観光資源、住環境等を考えても可能性のある取組であるのではないかと思う。

# 政務活動費領収書等貼付用紙

(領収書は重ならないように貼付)

領収書貼付用紙No.	9
------------	---

領収書金額	10,000円
-------	---------

①	研究研修費
2	調査旅費
3	広報費
4	広聴費
5	要請・陳情活動費
6	会議費
7	資料作成費
8	資料購入費
9	事務費
10	その他の経費

No.0721

## 会議参加費 領収書

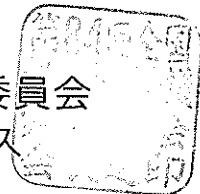
自由民主党 区市議団  
鈴木和基 様

金 10,000円

但、「第84回全国都市問題会議」に係る会議参加費として上記正に領収いたしました。

令和4年 10月 13日

第84回全国都市問題会議実行委員会  
 会長 田上富久



## 旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会 派 代表者	自由民主党 田原市議団 大竹正章	経 理 責任者	村上 誠			
旅行期間	令和4年10月12日から 令和4年10月14日まで	2泊 3日	視察代表	内藤 浩			
旅行先	長崎県長崎市 出島メッセ長崎 (〒850-0058 長崎県長崎市尾上町4番地1)						
宿泊地	東横 INN 長崎駅前 (〒850-0036 長崎県長崎市五島町5-45)						
視察・研修 等 目 的	第84回全国都市問題会議						
行 程	10月12日(水) 前泊 10月13日(木) 全国都市問題会議参加 10月14日(金)                    "  詳細は別紙のとおり						
経路 別紙のとおり	旅 費						
	鉄道賃		4	6	5	0	0
	車 賃						
	航空賃						
	日 当			4	5	0	0
	宿泊料		2	4	0	0	0
	研修費		1	0	0	0	0
合 計		8	5	0	0	0	

※太枠内へ所要事項を記入すること。  
経路及び旅費については、事務局にて記入。

別紙

行程

1 日目：三河田原駅 → 豊橋駅 → 名古屋駅 → 博多駅 → 武雄温泉駅 → 長崎駅

渥美線
こだま
のぞみ
リレーかもめ
新幹線かもめ  
 徒歩 → 長崎駅 → 五島町 → ホテル  
 (長崎電軌)

2 日目：ホテル → 五島町 → 長崎駅 → 会場 → 長崎駅 → 五島町 → ホテル

徒歩
市電
徒歩
徒歩
市電
徒歩  
 (長崎電軌) (長崎電軌)

3 日目：ホテル → 五島町 → 長崎駅 → 会場 → 長崎駅 → 武雄温泉駅 →

徒歩
市電
徒歩
徒歩
新幹線かもめ
リレーかもめ  
 (長崎電軌)

博多駅 → 名古屋駅 → 豊橋駅 → 三河田原駅

のぞみ
こだま
渥美線

1 日目

三河田原駅 → 新豊橋駅(渥美線)	520 円 (電)
豊橋駅 → 名古屋駅(新幹線こだま指定席 72.4km)	(運賃)11,780 円 (電) *往復割引対応 (特急券)6,500 円 (電) *豊橋 → 博多間 (指定席) 530 円 (電) (のぞみ割増)530 円 (電) (特急券)3,190 円 (電) *博多 → 長崎 (長崎電軌)100 円 (電)
名古屋駅 → 博多駅(新幹線のぞみ指定席 808.9km)	
博多駅 → 武雄温泉(リレーかもめ指定席 81.9km)	
武雄温泉 → 長崎駅(新幹線かもめ指定席 69.6km)	
長崎駅 → 五島町(長崎電軌)	

2 日目

五島町 → 長崎駅(長崎電軌)	100 円 (電)
長崎駅 → 五島町(長崎電軌)	100 円 (電)

3 日目

五島町 → 長崎駅(長崎電軌)	(長崎電軌)100 円 (電)
長崎駅 → 武雄温泉(新幹線かもめ指定席 69.6km)	(運賃)11,780 円 (電) *往復割引対応 (特急券)6,500 円 (電) *博多間 → 豊橋 (指定席) 530 円 (電) (のぞみ割増)530 円 (電) (特急券)3,190 円 (電) *長崎 → 博多 (渥美線) 520 円 (電)
武雄温泉 → 博多駅(リレーかもめ指定席 81.9km)	
博多駅 → 名古屋駅(新幹線のぞみ指定席 808.9km)	
名古屋駅 → 豊橋駅(新幹線こだま指定席: 72.4km)	
新豊橋駅 → 三河田原駅(渥美線)	

日当(2,000 円 × 2 日、滞在 500 円 × 1 日)	4,500 円
宿泊費(12,000 円 × 2 日)	24,000 円
研修費	10,000 円

## 視察・研修等報告書

令和 4 年 10 月 20 日

田原市議会議長 殿

会派名 自由民主党田原市議団

議員名 内藤 浩

下記のとおり、視察・研修等が終了したので報告します。

		会 派 代表者	大竹正章	経 理 責任者	村上 誠
期 間	令和 4 年 10 月 13 日 (木) ~ 令和 4 年 10 月 14 日 (金)				
視 察 ・ 研 修 等 先	長崎県長崎市				
視 察 ・ 研 修 等 の 目 的	第 84 回 全国都市問題会議 個性を活かして「選ばれる」まちづくり ～何度も訪れたい場所になるために～				
視 察 先 等 面 会 者	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 基調講演：民間主導の地域創生の重要性 (株) ジャパネットホールディングス 代表取締役社長 兼 CEO 高田旭人 氏</li> <li>■ 主報告：長崎市の魅力のあるまちづくり 長崎県長崎市長 田上富久 氏</li> <li>■ 一般報告                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域との新しい関わり方・関係人口 島根県立大学地域政策学部准教授 田中輝美 氏</li> <li>・ ビジョンを活かしたまちづくり ～「選ばれる山形市」を目指して～ 山形県山形市長 佐藤孝弘 氏</li> <li>・ 「交流の産業化」を支える景観まちづくり ～長崎県景観専門監の取り組み～ 一般社団法人地域力創造デザインセンター 代表理事 高尾忠志 市</li> </ul> </li> </ul>				



	<p>■ パネルディスカッション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「選ばれる」まちづくりに向けた都市自治体のアプローチ 東京都立大学法学部教授 大杉 覚 氏</li> <li>・人が人を磨き、輝く人が人を呼ぶ ～「雲仙人プロジェクト」の試み～ ゆとり研究所所長 野口智子 氏</li> <li>・ワーケーションの意味の拡張と変異 山梨大学生命環境学部地域社会システム学科 教授 田中 敦 氏</li> <li>・人は人に会いに行く！ ～「まち歩き」で見つけた”まちのつくり方”～ NPO 法人長崎コンプラドール理事長 桐野耕一 氏</li> <li>・人口減少先進地の挑戦 ～ファンと共に取り組むまちづくり～ 岐阜県飛騨市長 都竹淳也 氏</li> <li>・清酒発祥の地・伊丹 ～酒と文化が薫まち～ 兵庫県伊丹市長 藤原保幸 氏</li> </ul>
<p>概要及び所見</p>	<p>■ 基調講演</p> <p>・行政は、誰一人立ち止まることがないよう福祉を充実させ、皆が平等公平に恩恵を受けられる環境づくりを目指している。一方、民間企業は全ての人の願いを平等にかなえることはできないかもしれないが、社会全体における幸せの総量を増やすことが役割と思った。また、良いと思ったものには自らリスクを取り、最短の意思決定で取り組んでいけることも民間企業の大きな特徴の1つと考える。</p> <p>■ 主報告</p> <p>・わがまちの価値とは</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①「価値を見つける」…身近にある特別な価値が見えていなかったものでも、見る角度を変えることで、新たな価値が見つかることもある。</li> <li>②「価値に気づく」…「長崎さるく」という、住んでいる市民参加による企画やガイドの取り組みを進め、日頃から市民がよく通るような道も、価値があったことに気づき、愛着がわき、シビックプライドの醸成にもつながった。</li> <li>③「価値を磨く」…景観専門監制度の導入により、景観は見て楽しいだけでなく、快適だったり、場所の個性を感じたりとまちの魅力の向上につながっている。</li> </ol>

④「価値を生み出す」…新たに創造する価値の一例として「長崎スタジアムシティプロジェクト」がある。日常に楽しさを生み出し交流人口の増加や雇用の場も創出することで長崎市の課題解決にもつながる官民一体となった取組を進めている。

・まちの価値に気づく契機には、やはり「交流」が欠かせない

#### ■ 一般報告

・地域との新しい関わり方として、交流人口でも定住人口でもない第3の人口の考え方。「観光以上、定住未満」のような重要なポイントになる。

・山形市は「選ばれるまち」となるために「健康」と「医療」をいかした「健康医療先進都市」とした長期ビジョンを掲げている。また文化芸術活動を通じて持続的発展を目指している。

・長崎市景観専門監は市長のまちづくりの考え方「ただ道路をつくるだけであれば1の価値なのだが、すこし工夫をしたりすると価値が10ぐらいになる。それは1年では気づかないかもしれないが、10年たつと、まち全体の価値が百、千のプラスになる」を実現するために設置されてものである。

そして「人材」育成が重要である。

#### ■ パネルディスカッション

・「選ばれる」まちづくりへの多様なアプローチが必要

・世の中は、交流、関係人口、移住と人の取り合い合戦のようなことが行われている。しかし人を呼び込む前に、住んでいる人同士が深く知り合って、お互いを尊重し、しなやかなスクラムを組むのが先で、そこからネットワーク的につながっていくことが必要。人と人がいい出会い方をすると、もっといい変化が起き、ついついまた会いたくなるそんな人たちが増えることが大事だと思う。

・ワーケーションが進まない理由は、ICTなどインフラ整備のが不十分、労務管理上の問題やコロナ禍の影響が現実的な問題として続いているためと考えられる。

・「まち歩き」ではそこにある小さな幸せを見つけ記憶をたどり、自分の経験、ふるさとに重ねて共感します。違う土地で自らの幸せを再確認する行為、あるある探し、自己肯定の場で、共感が多いほど「まち」をすきになって、そんな想いに誘ってくれるまちには何度も訪れたいものです。

なぜなら人は人に会いに行くのだから。

・飛騨市はファンクラブから生まれた「関係人口」がある。関係人口には「関心人口」「交流人口」そして地域に手伝いに来てくれる「行動人口」があると考え。人口減少を止めることも重要であるが、人口減少は不可避であることを認識してこそ新しい知恵や工夫が生まれると考える。

・伊丹市はにぎわい創出・何度も訪れたくなるまちとして市民がまちを盛り上げて「選ばれるまち」としてこれからも進化し続けることが重要と考えている。

ただ単に人口増加のために誰でもいいかという、そういうものではないし、人口争奪戦より「何度も訪れたいまち」になることが重要。

内藤 浩

# 政務活動費領収書等貼付用紙

(領収書は重ならないように貼付)

領収書貼付用紙No.	10
------------	----

領収書金額	10,000 円
-------	----------

①	研究研修費
2	調査旅費
3	広報費
4	広聴費
5	要請・陳情活動費
6	会議費
7	資料作成費
8	資料購入費
9	事務費
10	その他の経費

No.0687

## 会議参加費 領収書

自由民主党 田原市議会

内藤 浩 様

金 10,000円

但、「第84回全国都市問題会議」に係る会議参加費として上記正に領収いたしました。

令和4年 10月 13日

第84回全国都市問題会議実行委員会  
会長 田上 富久



## 旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会 派 代表者	自由民主党 田原市議団 大竹正章	経 理 責任者	村上 誠			
旅行期間	令和4年10月19日から 令和4年10月20日まで	1泊 2日	視察代表	大竹正章			
旅行先	長野県長野市 ホクト文化ホール (〒380-0928 長野県長野市若里1-1-3)						
宿泊地	東横 INN 長野駅善光寺口 (〒380-0824 長野県長野市南石堂町1315-8)						
視察・研修 等 目 的	第17回全国市議会議長会研究フォーラム						
行 程	10月19日(水) フォーラム参加(13:00~) 10月20日(木) フォーラム参加(9:00~) " 視察参加(11:30~) 詳細は別紙のとおり						
経路 別紙のとおり	旅 費						
	鉄道賃		1	6	7	6	0
	車 賃				6	8	0
	航空賃						
	日 当			4	0	0	0
	宿泊料		1	2	0	0	0
	研修費		2	0	0	0	0
	合 計		5	3	4	4	0

※太枠内へ所要事項を記入すること。

経路及び旅費については、事務局にて記入。

別紙

**行程**

1日目: やぐま台駅 → 豊橋駅 → 名古屋駅 → 長野駅 → 長野駅東口バス停 →

→ 文化会館入口バス停 → **会場** → 文化会館入口バス停 → 長野駅東口バス停 → ホテル

2日目: ホテル → 長野駅東口バス停 → 文化会館入口バス停 → **会場** → 文化会館入口バス停 →

長野駅東口バス停 → 長野駅 → 名古屋駅 → 豊橋駅 → やぐま台駅

1日目

やぐま台駅→新豊橋駅(渥美線)	420円(電)
豊橋駅→名古屋駅(こだま自由席 72.4km)	} (自由席)990円
(電)	
名古屋駅→長野駅(JR ワイドビューしなの指定席 250.8km)	} (運賃)5,500円(電)
(電)	
長野駅東口バス停→文化会館入口バス停(長電バス)	170円(車)
文化会館入口バス停→長野駅東口バス停 (長電バス)	170円(車)

2日目

長野駅東口バス停→文化会館入口バス停(長電バス)	170円(車)
文化会館入口バス停→長野駅東口バス停 (長電バス)	170円(車)
長野駅→名古屋駅(JR ワイドビューしなの指定席 250.8km)	} (指定席)1,470円(電)
名古屋駅→豊橋駅(こだま自由席 72.4km)	} (運賃)5,500円(電)
新豊橋駅→やぐま台駅(渥美線)	(自由席)990円(電)
	420円(電)
日当(2,000円×2日)	4,000円
宿泊費(12,000円×1日)	12,000円
研修費 (1日目)	9,000円
研修費 (2日目)	11,000円

## 視察・研修等報告書

令和4年10月22日

田原市議会議長 殿

会派名 自由民主党田原市議団  
議員名 大竹 正章

下記のとおり、視察・研修等が終了したので報告します。

	会派 代表者	大竹 正章	経理 責任者	村上 誠
期 間	令和4年10月19日（水）～20日（木）			
視察・研修 等先	●第17回全国市議会議長会研究フォーラム ホクト文化ホール 〒380-0928 長野県長野市若里1丁目1-3) 宿泊先：東横 INN 長野善光寺口 〒380-0824 長野県長野市南石堂町 1315-8			
視察・研修 等の目的	議題：ーデジタルが開く地方議会の未来ー			
視察先等 面会者				
概要及び所 見	●基調講演 IGPI グループ会長 富山和彦氏の講演は、CX, DX による事業変革で地域公共交通をゲームチェンジしてきた事業者。結論は、競争法改革と他業種兼業型、地域事業モデルの創造（バス、鉄道などを一体化して地域 Maas 事業者へ）と説く。 ●パネルディスカッション オンライン議会等制度上の話題が多いが、長野市議会議長 寺沢氏から市民との意見交換会をオンライン開催した事例はハイブリッド型もあり手法として面白い。 ●課題討議 取手市議会は、一歩先を行っており「会議録視覚化システム」は議論の分かりやすさにつながる。オンライン事前説明を活用し事前調査が活発化した事例は秀逸。可見市においてもオンライン議会報告を行い盛況と報告があった。西脇市議会も			

	<p>オンライン議会と語ろう会を開催、過去に参加の無かった若い参加者（女性含む）が多く手ごたえを感じているそう。課題も整理しており参考になる。</p>
--	-----------------------------------------------------------------------------



# 政務活動費領収書等貼付用紙

(領収書は重ならないように貼付)

領収書金額	¥9,000 円
-------	----------

領収書 貼付用 紙No.	11
--------------------	----

1	研究研修費
2	調査旅費
3	広報費
4	広聴費
5	要請・陳情活動費
6	会議費
7	資料作成費
8	資料購入費
9	事務費
10	その他の経費

領収書は次項に添付

W000079

第17回全国市議会議長会研究フォーラム in 長野

令和4年11月4日

自由民主党田原市議団

仲谷 政弘様、長神 隆士様、古川 美栄様、村上 誠様、内藤 喜久枝様

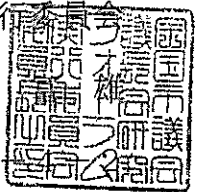
↓  
大竹正章

参加費領収書

第17回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

委員長 清水

東京都千代田区平河町2



④ 9,000円 × 5名

金 45,000 円

¥9,000円

第17回全国市議会議長会研究フォーラム in 長野の参加費として

令和4年10月19日・20日開催 (長野市)

# 政務活動費領収書等貼付用紙

(領収書は重ならないように貼付)

領収書金額	¥ 11,000 円
-------	------------

領収書 貼付用 紙No.	12
--------------------	----

①	研究研修費
2	調査旅費
3	広報費
4	広聴費
5	要請・陳情活動費
6	会議費
7	資料作成費
8	資料購入費
9	事務費
10	その他の経費

領収書は次項に添付

W000079

第17回全国市議会議長会研究フォーラム in 長野

令和4年11月4日

自由民主党田原市議団

仲谷 政弘様、長神 隆士様、古川 美栄様、内藤喜久枝様  
木竹 正章

視察費領収書

第17回全国市議会議長会研究フォーラム実行

委員長 清水

東京都千代田区平河町2



① 11,000円 × 4人

金 44,000 円

② ¥11,000円

第17回全国市議会議長会研究フォーラム in 長野の視察費として

令和4年10月19日・20日開催 (長野市)

## 旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会 派 代表者	自由民主党 田原市議団 大竹正章	経 理 責任者	村上 誠			
旅行期間	令和4年10月19日から 令和4年10月20日まで	1泊 2日	視察代表	長神隆工			
旅行先	長野県長野市 ホクト文化ホール (〒380-0928 長野県長野市若里1-1-3)						
宿泊地	東横 INN 長野駅善光寺口 (〒380-0824 長野県長野市南石堂町1315-8)						
視察・研修 等 目 的	第17回全国市議会議長会研究フォーラム						
行 程	10月19日(水) フォーラム参加(13:00~) 10月20日(木) フォーラム参加(9:00~) " 視察参加(11:30~) 詳細は別紙のとおり						
経路 別紙のとおり	旅 費						
	鉄道賃		1	6	9	6	0
	車 賃				6	8	0
	航空賃						
	日 当			4	0	0	0
	宿泊料		1	2	0	0	0
	研修費		2	0	0	0	0
	合 計		5	3	6	4	0

※太枠内へ所要事項を記入すること。  
経路及び旅費については、事務局にて記入。

別紙

**行程**

<sup>渥美線</sup> <sup>こだま</sup> <sup>ワイドビューしなの</sup> <sup>徒歩</sup> <sup>長電バス</sup>  
**1日目**: 三河田原駅 → 豊橋駅 → 名古屋駅 → 長野駅 → 長野駅東口バス停 →  
<sup>徒歩</sup> <sup>徒歩</sup> <sup>長電バス</sup> <sup>徒歩</sup>  
 → 文化会館入口バス停 → **会場** → 文化会館入口バス停 → 長野駅東口バス停 → ホテル  
<sup>徒歩</sup> <sup>長電バス</sup> <sup>徒歩</sup> <sup>徒歩</sup> <sup>長電バス</sup>  
**2日目**: ホテル → 長野駅東口バス停 → 文化会館入口バス停 → **会場** → 文化会館入口バス停  
 →  
<sup>徒歩</sup> <sup>ワイドビューしなの</sup> <sup>こだま</sup> <sup>渥美線</sup>  
 長野駅東口バス停 → 長野駅 → 名古屋駅 → 豊橋駅 → 三河田原駅

1日目

三河田原駅→新豊橋駅(渥美線)	520円(電)
豊橋駅→名古屋駅(こだま自由席 72.4km)	} (自由席)990円
(電)	
名古屋駅→長野駅(JR ワイドビューしなの指定席 250.8km)	} (運賃)5,500円(電) (指定席)1,470円
(電)	
長野駅東口バス停→文化会館入口バス停(長電バス)	170円(車)
文化会館入口バス停→長野駅東口バス停 (長電バス)	170円(車)

2日目

長野駅東口バス停→文化会館入口バス停(長電バス)	170円(車)
文化会館入口バス停→長野駅東口バス停 (長電バス)	170円(車)
長野駅→名古屋駅(JR ワイドビューしなの指定席 250.8km)	} (指定席)1,470円(電) (運賃)5,500円(電)
名古屋駅→豊橋駅(こだま自由席 72.4km)	
新豊橋駅→三河田原駅(渥美線)	520円(電)
日当(2,000円×2日)	4,000円
宿泊費(12,000円×1日)	12,000円
研修費(1日目)	9,000円
研修費(2日目)	11,000円

## 視察・研修等報告書

令和 4 年 10 月 25 日

田原市議会議長 殿

会派名自由民主党田原市議団  
議員名長神隆士

下記のとおり、視察・研修等が終了したので報告します。

		会 派 代表者	大竹正 章	経 理 責任者	村上誠
期 間	令和 4 年 10 月 19 日（水）～令和 4 年 10 月 20 日（木）				
視 察 ・ 研 修 等 先	令和 4 年 10 月 19 日～20 日とも 長野県長野市 ホクト文化ホール				
視 察 ・ 研 修 等 の 目 的	第 17 回全国市議会議長会研究フォーラム				
視 察 先 等 面 会 者					
概要及び所見	<p>10 月 19 日は第 1 部、基調講演「コロナ後の地域経済」 富山和彦氏：：(株) 経営共創基盤グループ会長 (株)日本共創プラットフォーム代表取締役社長</p> <p>13 時から始まり特に印象に残ったのはローカル経済圏でなぜ 当たり前前かが出来ていないのか？経営人材の問題、経営体の 動機づけの問題、新陳代謝が進まない問題、地域経済密度の問題 等で有りましたが言は易しし行うは難たしだと感じました。</p> <p>第 2 部 パネルディスカッション 「地方議会のデジタル化の現状・課題と将来の可能性」 人羅格氏毎日新聞社論説委員がコーディネーターを勤めて 4 人の パネリストが表題に基づいて提言や取り組みを述べた。特に地元 開催地の長野市議会議長の発表に注目をした。内容は長野市議会 のデジタル化への取り組みの状況について発表があった。まず本 会議場に採決システムを導入、常任委員会インターネット中継を 開始（録画）、議会活動にタブレット端末を導入、田原市議会も導 入して行っている。また市民と議会の意見交換会（議会報告会） をオンラインで開催している。本市でも開催したらどうかと思い</p>				

ました。また委員会のオンラインで開催の導入を推進している。本市でも重大な感染症のまん延又は災害等で委員の定数のうち半数の委員が参集することが困難になった時はオンラインによる参加も導入していったらどうかと思いました。いつ来るかも分からない地震、津波に備えたBCPをしっかりと認識することが重要！

10月20日フォーラム2日目、9時から始まった。第3部課題討議「地方議会のデジタル化の取組の報告」コーディネーターは慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授、谷口尚子氏の進行で始まった。パネリスト、取手市金沢市議会議長、可児市板津市議会議長、西脇市林市議会議長の3人であった。まず取手市議会におけるITCを活用した主な取組の中で特に感じた事は現地に行かずも現場把握できる、例えば体育館の床のひずみも確認できる。またオンライン視察は効率的そして年間18万枚減のペーパーレス・職員時間外大幅減、次に可児市議会の議会報告会の実施について報告があった。特に感じた事は完全オンラインの議会報告会の実施はすごいと思いました。またパソコンを利用した一般質問が出来る。最後に西脇市議会の議会DXへの取組について特に感じた事はオンラインで視察を受け入れる事や逆に他議会にオンライン視察を行っている。またオンライン議会と語ろう会の試行も行っていた事。そして11時に閉会式後第4部視察に移った。私はDコースでジビエ加工センターの取組みと地域資源を活かした中山間地域活性化の視察であった。農業被害の軽減と中山間地域の活性化を図るために設置された長野市ジビエ加工センターの取組みを視察した。平成31年2月に設置建設費2億2800万令和元年7月稼働で受け入れ実績(イノシシ、ニホンジカ)R元1,122でR2,573 R3,742であった。豚熱の影響でR2からイノシシは受け入れ休止。一定規模の処理頭数を確保し、食品衛生管理の徹底を図り捕獲から搬送、処理加工及び販売をしっかりとつなげ、ビジネスとして持続できる安全で安全なジビエの安定供給を実現させる仕組みづくりが課題とのこと。捕獲補助金、食肉活用(優良)18,000円、(普通)15,000円、ペットフード等12,000円となっていた。市内の小中学校の給食でジビエ料理の提供を実施した。令和3年度延べ137校、52,500食。最後の視察地は長野市中条総合センター内で中条地区住民自治協議会より中山間地域の振興策について説明をうけた。人口減少・少子高齢化の結果、個人の生活の維持が困難になり集落機能の維持が困難になり担い手不足と農地・山林の荒廃が一層進展してしまう。解決するために「やまざと」のもつ魅力や資源を活かし、人がつながり、未来につながる、地域づくりを目指して取り組んで行く、長野市



	<p>単独事業で支援補助金を頂き多くの施策に取り組んでいる。また地域おこし協力隊制度を活用して国からの財政支援を受けて活動をしている。その中である地区では空き家バンクの取り組みを支援している。他の地区も協力隊員を活用して活動の展開を図っていた。是非田原においても採用して新たな風を起こして欲しいと思いました。以上ありがとうございました。</p>
--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

# 政務活動費領収書等貼付用紙

(領収書は重ならないように貼付)

領収書 貼付用 紙No.	13
--------------------	----

領収書金額	¥9,000 円
-------	----------

①	研究研修費
②	調査旅費
③	広報費
④	広聴費
⑤	要請・陳情活動費
⑥	会議費
⑦	資料作成費
⑧	資料購入費
⑨	事務費
⑩	その他の経費

領収書は次項に添付

W000079

第17回全国市議会議長会研究フォーラム in 長野

令和4年11月4日

自由民主党田原市議団

仲谷 政弘様、長神 隆士様、古川 美栄様、村上 誠様、内藤 喜久枝 様

参加費領収書

第17回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

委員長 清水

東京都千代田区平河町2



① 9,000円 × 5名

金 45,000 円

単価 9,000円

第17回全国市議会議長会研究フォーラム in 長野の参加費として

令和4年10月19日・20日開催 (長野市)

# 政務活動費領収書等貼付用紙

(領収書は重ならないように貼付)

領収書 貼付用 紙No.	14
--------------------	----

領収書金額	¥11,000 円
-------	-----------

①	研究研修費
2	調査旅費
3	広報費
4	広聴費
5	要請・陳情活動費
6	会議費
7	資料作成費
8	資料購入費
9	事務費
10	その他の経費

領収書は次項に添付

第17回全国市議会議長会研究フォーラム in 長野

令和4年11月4日

自由民主党田原市議団

仲谷 政弘様、長神 隆士様、古川 美栄様、内藤 喜久枝 様

視察費領収書

第17回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

委員長 清水

東京都千代田区平河町2



① 11,000円 × 4名

金 44,000 円

単価 11,000円

第17回全国市議会議長会研究フォーラム in 長野の視察費として

令和4年10月19日・20日開催 (長野市)

## 旅行命令簿・旅費請求書

<b>研究研修費</b> 、調査旅費 要請・陳情活動	会 派 代表者	自由民主党 田原市議団 大竹正章	経 理 責任者	村上 誠			
旅行期間	令和4年10月19日から 令和4年10月20日まで	1泊 2日	視察代表	村上 誠			
旅行先	長野県長野市 ホクト文化ホール (〒380-0928 長野県長野市若里1-1-3)						
宿泊地	東横 INN 長野駅善光寺口 (〒380-0824 長野県長野市南石堂町1315-8)						
視察・研修 等 目 的	第17回全国市議会議長会研究フォーラム						
行 程	10月19日(水) フォーラム参加(13:00~) 10月20日(木) フォーラム参加(9:00~)  詳細は別紙のとおり						
経路 別紙のとおり	旅 費						
	鉄道賃		1	6	8	6	0
	車 賃				6	8	0
	航空賃						
	日 当			4	0	0	0
	宿泊料		1	2	0	0	0
	研修費			9	0	0	0
	合 計		4	2	5	4	0

※太枠内へ所要事項を記入すること。  
経路及び旅費については、事務局にて記入。

別紙

**行程**

1日目：三河田原駅 <sup>渥美線</sup> → 豊橋駅 <sup>こだま</sup> → 名古屋駅 <sup>ワイドビューしなの</sup> → 長野駅 <sup>徒歩</sup> → 長野駅東口バス停 <sup>長電バス</sup> →

→ 文化会館入口バス停 <sup>徒歩</sup> → **会場** <sup>徒歩</sup> → 文化会館入口バス停 <sup>長電バス</sup> → 長野駅東口バス停 <sup>徒歩</sup> → ホテル

2日目：ホテル <sup>徒歩</sup> → 長野駅東口バス停 <sup>長電バス</sup> → 文化会館入口バス停 <sup>徒歩</sup> → **会場** <sup>徒歩</sup> → 文化会館入口バス停 <sup>長電バス</sup> →

長野駅東口バス停 <sup>徒歩</sup> → 長野駅 <sup>ワイドビューしなの</sup> → 名古屋駅 <sup>こだま</sup> → 豊橋駅 <sup>渥美線</sup> → 三河田原駅

1日目

三河田原駅→新豊橋駅(渥美線)	470円 (電)
豊橋駅→名古屋駅(こだま自由席 72.4km)	} (自由席)990円 (電) (運賃)5,500円 (電)
名古屋駅→長野駅(JR ワイドビューしなの指定席 250.8km)	
長野駅東口バス停→文化会館入口バス停(長電バス)	170円 (車)
文化会館入口バス停→長野駅東口バス停 (長電バス)	170円 (車)

2日目

長野駅東口バス停→文化会館入口バス停(長電バス)	170円 (車)
文化会館入口バス停→長野駅東口バス停 (長電バス)	170円 (車)
長野駅→名古屋駅(JR ワイドビューしなの指定席 250.8km)	} (指定席)1,470円 (電) (運賃)5,500円 (電)
名古屋駅→豊橋駅(こだま自由席 72.4km)	
新豊橋駅→三河田原駅(渥美線)	470円 (電)
日当(2,000円×2日)	4,000円
宿泊費(12,000円×1日)	12,000円
研修費 (1日目)	9,000円

## 全国市議会議長会研究フォーラム報告書

氏名 自由民主党田原市議団 村上 誠

会 議 日	令和4年10月19日(水)～20日(木)
会 場	長野市 ホクト文化ホール
会 議 目 的	第17回全国市議会議長会研究フォーラム
《参考になった点》	
【基調講演】 コロナ後の地域経済 株)経営共創基盤グループ会長 富山和彦氏	
【パネルディスカッション】	
・ 1日目	テーマ 「地方議会のデジタル化の現状・課題と将来の可能性」
	コーディネーター 毎日新聞社 人羅 格氏
	パネリスト 早稲田大学 岩崎尚子氏
	東京大学 牧原 出氏
	明治大学 湯浅壱道氏
	長野市議会 寺沢さゆり氏
・ 2日目	テーマ 「地方議会のデジタル化の取組報告」
	コーディネーター 慶應大学 谷口尚子氏
	パネリスト 取手市議長 金澤克仁氏
	可児市議長 板津博之氏
	西脇市議長 林 晴信氏
【現状と課題】	
地方公共団体の意思決定機関である議会は、議員のなりて不足や性別年齢等の構成の隔たりという課題を抱えており、新型コロナウイルス感染症の影響をきっかけにデジタル化推進の必要性はたかまっている。	



# 政務活動費領収書等貼付用紙

(領収書は重ならないように貼付)

領収書金額	79,000 円
-------	----------

領収書 貼付用 紙No.	15
--------------------	----

①	研究研修費
2	調査旅費
3	広報費
4	広聴費
5	要請・陳情活動費
6	会議費
7	資料作成費
8	資料購入費
9	事務費
10	その他の経費

領収書は次項に添付

原本 仲谷 議員

W000079

第17回全国市議会議長会研究フォーラム in 長野

令和4年11月4日

自由民主党田原市議団

仲谷 政弘様、長神 隆士様、古川 美栄様、村上 誠様、内藤 喜久枝 様

参加費領収書

第17回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

委員長 清水

東京都千代田区平河町2



④ 9,000円 × 5名

金 45,000 円

(※ 1人当り 9,000円)

第17回全国市議会議長会研究フォーラム in 長野の参加費として

令和4年10月19日・20日開催 (長野市)

## 旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会 派 代表者	自由民主党 田原市議団 大竹正章	経 理 責任者	村上 誠			
旅行期間	令和4年10月19日から 令和4年10月20日まで	1泊 2日	視察代表	古川美栄			
旅行先	長野県長野市 ホクト文化ホール (〒380-0928 長野県長野市若里1-1-3)						
宿泊地	東横 INN 長野駅善光寺口 (〒380-0824 長野県長野市南石堂町1315-8)						
視察・研修 等 目 的	第17回全国市議会議長会研究フォーラム						
行 程	10月19日(水) フォーラム参加(13:00~) 10月20日(木) フォーラム参加(9:00~) " 視察参加(11:30~) 詳細は別紙のとおり						
経路 別紙のとおり	旅 費						
	鉄道賃		1	6	9	6	0
	車 賃				6	8	0
	航空賃						
	日 当			4	0	0	0
	宿泊料		1	2	0	0	0
	研修費		2	0	0	0	0
合 計		5	3	6	4	0	

※太枠内へ所要事項を記入すること。

経路及び旅費については、事務局にて記入。

別紙

**行程**

<sup>渥美線</sup> <sup>こだま</sup> <sup>ワイドビューしなの</sup> <sup>徒歩</sup> <sup>長電バス</sup>  
**1日目**：三河田原駅 → 豊橋駅 → 名古屋駅 → 長野駅 → 長野駅東口バス停 →  
<sup>徒歩</sup> <sup>徒歩</sup> <sup>長電バス</sup> <sup>徒歩</sup>  
 → 文化会館入口バス停 → **会場** → 文化会館入口バス停 → 長野駅東口バス停 → ホテル  
  
<sup>徒歩</sup> <sup>長電バス</sup> <sup>徒歩</sup> <sup>徒歩</sup> <sup>長電バス</sup>  
**2日目**：ホテル → 長野駅東口バス停 → 文化会館入口バス停 → **会場** → 文化会館入口バス停 →  
  
<sup>徒歩</sup> <sup>ワイドビューしなの</sup> <sup>こだま</sup> <sup>渥美線</sup>  
 長野駅東口バス停 → 長野駅 → 名古屋駅 → 豊橋駅 → 三河田原駅

1日目

三河田原駅→新豊橋駅(渥美線)	520円(電)
豊橋駅→名古屋駅(こだま自由席 72.4km)	} (自由席)990円
(電)	
名古屋駅→長野駅(JR ワイドビューしなの指定席 250.8km)	} (運賃)5,500円(電)
(電)	
長野駅東口バス停→文化会館入口バス停(長電バス)	170円(車)
文化会館入口バス停→長野駅東口バス停 (長電バス)	170円(車)

2日目

長野駅東口バス停→文化会館入口バス停(長電バス)	170円(車)
文化会館入口バス停→長野駅東口バス停 (長電バス)	170円(車)
長野駅→名古屋駅(JR ワイドビューしなの指定席 250.8km)	} (指定席)1,470円(電)
名古屋駅→豊橋駅(こだま自由席 72.4km)	} (運賃)5,500円(電)
新豊橋駅→三河田原駅(渥美線)	(自由席)990円(電)
	520円(電)
日当(2,000円×2日)	4,000円
宿泊費(12,000円×1日)	12,000円
研修費(1日目)	9,000円
研修費(2日目)	11,000円

## 視察・研修等報告書

令和4年10月24日

田原市議会議長 殿

会派名 自由民主党田原市議会  
議員名 古川美栄

下記のとおり、視察・研修等が終了したので報告します。

	会派代表者	大竹正章	経理責任者	村上誠
期 間	令和4年10月19日（水）～令和4年10月20日（木）			
視察・研修等先	長野市			
視察・研修等の目的	デジタルが開く地方議会の未来 ホクト文化ホール			
視察先など 面 会 者	富山和彦経営共創基盤グループ会長、人羅格毎日新聞、岩崎尚子早稲田大学教授、牧原出東京大学教授、湯浅懇道明治大学、寺沢さゆり長野市議会議長。谷口尚子慶応義塾大学教授、金沢克仁取手市議会議長、板津博之可児市議会議長、林晴信西脇市議会議長			
概要及び所見	<p>外山和彦氏からはコロナ後の地域経済について、デジタル化が進まない原因を4つの項目で説明された。</p> <p>① 経営人材の問題 ② 経営体の動機付けの問題 ③ 新陳代謝が進まない問題 ④ 地域経済密度の問題</p> <p>これらを克服し CX→DX→IX によってローカル産業、公営企業体の生産性革命を実現できるよう努めていきたい。</p> <p>長野市議長からデジタル化への取り組みとして本会議場へ採決システムを採用したこと、常任委員会をインターネット中継を録画によるが開始した、議会にタブレットを導入、市民と議会の意見交換会をオンラインで実施した。</p> <p>「地方議会のデジタル化の取り組みの報告」</p> <p>取手市議会では現地に行かずとも現地掌握ができる、年間18万枚のペーパーレスができた、職員の時間外労働が大幅に削減された、と報告された。</p> <p>可児市議会では完全オンラインでの議会報告会の発表がありました、また一般質問にパソコンを利用できるようにされたと</p>			

の報告がありました。

田原市議会においても更なるデジタル化への参考になりました。

# 政務活動費領収書等貼付用紙

(領収書は重ならないように貼付)

領収書 貼付用 紙No.	16
--------------------	----

領収書金額	¥9,000 円
-------	----------

①	研究研修費
2	調査旅費
3	広報費
4	広聴費
5	要請・陳情活動費
6	会議費
7	資料作成費
8	資料購入費
9	事務費
10	その他の経費

領収書は次項に添付

W000079

第17回全国市議会議長会研究フォーラム in 長野

令和4年11月4日

自由民主党田原市議団

仲谷 政弘様、長神 隆士様、古川 美栄様、村上 誠様、内藤 喜久枝 様

参加費領収書

第17回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

委員長 清水

東京都千代田区平河町2



① 9,000円 × 5%

金 45,000 円

¥ 9,000円 -

第17回全国市議会議長会研究フォーラム in 長野の参加費として

令和4年10月19日・20日開催 (長野市)



# 政務活動費領収書等貼付用紙

(領収書は重ならないように貼付)

領収書 貼付用 紙No.	17
--------------------	----

領収書金額	¥11,000 円
-------	-----------

①	研究研修費
2	調査旅費
3	広報費
4	広聴費
5	要請・陳情活動費
6	会議費
7	資料作成費
8	資料購入費
9	事務費
10	その他の経費

領収書は次項に添付

W000079

第17回全国市議会議長会研究フォーラム in 長野

令和4年11月4日

自由民主党田原市議団

仲谷 政弘様、長神 隆士様、古川 美栄様、内藤 喜久枝 様

視察費領収書

第17回全国市議会議長会研究フォーラム実

委員長 清水

東京都千代田区平河町2



① 11,000円 × 4名

金 44,000 円

② ~~11,000円~~ —

第17回全国市議会議長会研究フォーラム in 長野の視察費として

令和4年10月19日・20日開催 (長野市)

## 旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会派 代表者	自由民主党 田原市議団 大竹正章	経理 責任者	村上 誠			
旅行期間	令和4年10月19日から 令和4年10月20日まで	1泊 2日	視察代表	仲谷政弘			
旅行先	長野県長野市 ホクト文化ホール (〒380-0928 長野県長野市若里1-1-3)						
宿泊地	東横INN 長野駅善光寺口 (〒380-0824 長野県長野市南石堂町1315-8)						
視察・研修 等 目 的	第17回全国市議会議長会研究フォーラム						
行 程	10月19日(水) フォーラム参加(13:00~) 10月20日(木) フォーラム参加(9:00~) " 視察参加(11:30~) 詳細は別紙のとおり						
経路 別紙のとおり	旅 費						
	鉄道賃		1	6	9	6	0
	車賃				6	8	0
	航空賃						
	日当			4	0	0	0
	宿泊料		1	2	0	0	0
	研修費		2	0	0	0	0
合 計		5	3	6	4	0	

※太枠内へ所要事項を記入すること。  
経路及び旅費については、事務局にて記入。

別紙

行程

1日目: 三河田原駅 <sup>渥美線</sup> → 豊橋駅 <sup>こだま</sup> → 名古屋駅 <sup>ワイドビューしなの</sup> → 長野駅 <sup>徒歩</sup> → 長野駅東口バス停 <sup>長電バス</sup> →  
 → 文化会館入口バス停 <sup>徒歩</sup> → **会場** <sup>徒歩</sup> → 文化会館入口バス停 <sup>長電バス</sup> → 長野駅東口バス停 <sup>徒歩</sup> → ホテル

2日目: ホテル <sup>徒歩</sup> → 長野駅東口バス停 <sup>長電バス</sup> → 文化会館入口バス停 <sup>徒歩</sup> → **会場** <sup>徒歩</sup> → 文化会館入口バス停 <sup>長電バス</sup> →

長野駅東口バス停 <sup>徒歩</sup> → 長野駅 <sup>ワイドビューしなの</sup> → 名古屋駅 <sup>こだま</sup> → 豊橋駅 <sup>渥美線</sup> → 三河田原駅

1日目

三河田原駅→新豊橋駅(渥美線)	520円 (電)
豊橋駅→名古屋駅(こだま自由席 72.4km)	} (自由席)990円 (電) (運賃)5,500円 (電)
名古屋駅→長野駅(JR ワイドビューしなの指定席 250.8km)	
長野駅東口バス停→文化会館入口バス停(長電バス)	170円 (車)
文化会館入口バス停→長野駅東口バス停 (長電バス)	170円 (車)

2日目

長野駅東口バス停→文化会館入口バス停(長電バス)	170円 (車)
文化会館入口バス停→長野駅東口バス停 (長電バス)	170円 (車)
長野駅→名古屋駅(JR ワイドビューしなの指定席 250.8km)	} (指定席)1,470円 (電) (運賃)5,500円 (電)
名古屋駅→豊橋駅(こだま自由席 72.4km)	
新豊橋駅→三河田原駅(渥美線)	520円 (電)
日当(2,000円×2日)	4,000円
宿泊費(12,000円×1日)	12,000円
研修費 (1日目)	9,000円
研修費 (2日目)	11,000円

田原市議会議長

仲谷 政弘

## 第 17 回全国市議会議長会研究フォーラム

開催日 令和 4 年 10 月 19 日 (水)・20 日 (木)

主 催 全国市議会議長会

場 所 長野市ホクト文化ホール

第 1 日 基調講演 「コロナ後の地域経済」

富田 和彦 「株式会社 経営共創基盤グループ会長

20・21 世紀における経済危機は数回あるが、リーマンショック、欧州債務危機、コロナウイルス感染症等を含め危機等がかなりの頻度で起きているが、経済危機の影響は一般的な世の中のイメージはグローバル的大企業の影響が大きいと思うが、現実の姿はローカル経済のウエイトが大きいGDPの約70%雇用の80%は地域「ローカル」経済、そこで、生産性の向上に向けたモノや仕組み、サービス、組織、ビジネスモデルなどに新たな考え方や技術を取り入れて、新たな価値を生む出す社会が、「デジタル革命の拡大とAI革命により」きている。

経済復興の一つとしてグローバル企業よりはローカル企業の復興が大事！

そこで復興のポイントとして、

- ・「エッセンシャルワーカー」こそがこれからのコア（物の中心）な中間層を形成すべき
- ・ローカル産業こそがエッセンシャルインダストリー（必要不可欠な産業）にすること！
- ・「分ける化」「見える化」地道かつ徹底的CXがDXにつながる事業を行うこと！
- ・桁違いに安いコストで先端技術のデジタル技術を使い倒せるクラウドDX時代を生かすこと

このようなことを生かし、ローカル企業のCXDXを起動させることが、日本経済の復興に必要な事だと思えます。

I G P I グループの取り組み

地方のローカルバス経営は、基本的に赤字路線が多く、国からの補助金に頼って運営をしているため、赤字体質から抜け出せないでいる。そのようなバス路線を含む10の企業の事業展開をグループとして展開し成長している。・ICカードの利活用として路線別収支の見える化、ドライブレコーダーによる事故原因分析等、DXの活用などで新たな取り組みによる生産性、空中戦力も活用し人手不足と高賃金時代を逆手にとってさらなる成長をしていて、自動運転バスへの取り組みを行い、停留所を固定しないリクエスト型最低経路バスの取り組み、ワーケーションを取り入れた白浜エアポートの取り組み当の取り組みを行っているローカル産業の生産性、収益性を抜本的に改善に取り組んでいるグループ会社である。

パネルディスカッション 「地方議会のデジタル化の現状・課題と将来の可能性」

岩崎 尚子 早稲田大学電子政府・自治体研究所教授

取り組みの状況として、以前からのデジタル化と新型コロナウイルス感染症の影響で急激なデジタル化に伴い市議会でのデジタル化の目的と課題も多くあります。

・議会のデジタル化の目的は、あらゆる災害時にも議会機能を十分に発揮し、住民とのコミュニケーションを確保すること大事

・誰も取り残されないデジタル社会に向けて議会が果たすべき市議会のリーダーシップをはかるように努めること

・市議会が地域内のコミュニティを取りまとめる役割を果たすために必要なデジタル改革ができるかが課題。

牧原 出 東京代諾先端科学技術研究センター教授

総務省通知（2020年4月30日）により委員会のオンライン開催を認めることに成った。（国において、「出席」要件から本会議では認めない）

オンライン開催のため条例等改正した団体は135団体、市では77団体

オンライン委員会を開催した団体は35団体、市では20団体

オンライン開催を試みた団体29団体、市では18団体

今後として、市民からのアクセスが容易なデジタル化求められてくるのでデジタル化は不可欠ですので、普段からデジタル化を進めて行くことが大事、また、議員の担い手不足の面からはオンライン議会の可能性は意味があると思う。

湯浅 壱道 明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科教授

議会のデジタル化の意義として、危機に強い議会構築、デジタル・インクルージョン（人種、居住地域、所得、年齢、障害の有無などに関わらず、誰でもが、生活に関わるあらゆるデジタルテクノロジーを安全かつ自由に活用できるようにすること）の実現、議会に何らかの制約で出席できない議員をできるだけ減らし、民意を反映すること。

セキュリティとして、本人確認・なりすましの防止、通信障害の対応、危機の故障時の対応、また将来のことも含めての対応は必要、また、個人情報保護制度の中での保護条例の作成も必要。

寺沢 さゆり 長野市議会議長

長野市議会のデジタル化の取り組み、平成28年に決済システムの導入、平成30年に常任委員会インターネット中継開始、平成31年 議会活動にタブレット端末導入、令和4年 市民と議会の意見交換会をオンラインで開催、令和4年 委員会のオンライン開催の導入  
オンラインによる意見交換や委員会の開催は新型コロナウイルス感染症での対応で行っ

たが、今後、重大な感染も含め、また災害の発生等も考えられるので委員会として機能維持できる議会形式になり良かったとの事。

## 第2日 「地方議会のデジタル化の取り組み報告」

金澤 克仁 取手市議会議長

ICTを活用した取り組みとして、会議（50回を超える公式な委員会・その他非公式会議等で50回以上開催）、オンライン事前議案説明で、議案の理解度向上、現地視察360度カメラの活用で（現地にもいかず現場把握）、広報公聴（相手に合わせて開催しやすい）、災害対応（災害時は現地に残りつつ議会・議員活動ができる）研修（オンライン視察を行い効率的な場合も見られる）、ペーパーレス（年間18万枚紙の減と職員の時間外が応幅に減）等のメリットが見られた。

取手市議会として、国に対し、オンライン本会議の実現に必要な地方自治法改正を求める意見書を令和2年と令和3年に提出している。

板津 博之 可児市議会議長

グループウェアを導入、議会報告会を平成24年から実施する中で、議会改革のための市民アンケートを行い、令和2年からwithコロナ時代における議会報告会の在り方見直し、ケーブルテレビで番組作成し放送（YouTube）でも配信した。令和3年には、コロナ禍により、自由参加の市民とグループ討議することができない状況で、議会全体の報告会ではなく、各委員会で関係団体との懇談会、意見交換会など、密にならず参加者が後からでも特定できる方式を選択した。令和4年からは完全オンライン化の議会報告会に移行した。

林 晴信 西脇市議会議長

議会DXへの取り組みとして、基本的な考えとして、議会は住民自治のプラットフォーム！を目指して、ICTを何のために使う？をモットーに議会改革を始めた。令和3年に新庁舎が完成に伴い、Wi-Fi環境の整備、議会独自でZOOMアカウントも取得、議場に大型モニター設置、委員会室にはプロジェクター完備等、環境整備が整ってきたので、オンライン化のための委員会条例等を整備しオンライン化の実現に向けてスタートが切れた。

西脇市議会では、タブレットよりもノートパソコン使用者の方が多い。（タブレットは貸与だが誰も使用していない、総務部からの制約が多いため）

議案書はデータ&紙配布（資料はデータ配布が基本ですが紙配布されることもある）

オンライン視察の受入れを令和4年から開始（多くの自治体の視察を受け入れた）また、住民とのオンラインによる語ろう会を始めた。

以上

# 政務活動費領収書等貼付用紙

(領収書は重ならないように貼付)

領収書 貼付用 紙No.	18
--------------------	----

領収書金額	¥9,000 円
-------	----------

①	研究研修費
2	調査旅費
3	広報費
4	広聴費
5	要請・陳情活動費
6	会議費
7	資料作成費
8	資料購入費
9	事務費
10	その他の経費

領収書は次項に添付



W000079

第17回全国市議会議長会研究フォーラム in 長野

令和4年11月4日

自由民主党田原市議団

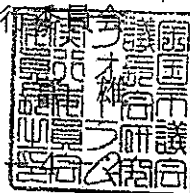
仲谷 政弘様、長神 隆士様、古川 美栄様、村上 誠様、内藤 喜久枝 様

参加費領収書

第17回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

委員長 清水

東京都千代田区平河町2



④ 9,000円 × 5名

金 45,000 円

④ 9,000円

第17回全国市議会議長会研究フォーラム in 長野の参加費として

令和4年10月19日・20日開催（長野市）

# 政務活動費領収書等貼付用紙

(領収書は重ならないように貼付)

領収書 貼付用 紙No.	19
--------------------	----

領収書金額	¥11,000 円
-------	-----------

①	研究研修費
2	調査旅費
3	広報費
4	広聴費
5	要請・陳情活動費
6	会議費
7	資料作成費
8	資料購入費
9	事務費
10	その他の経費

領収書は次項に添付

W000079

第17回全国市議会議長会研究フォーラム in 長野

令和4年11月4日

自由民主党田原市議団

仲谷 政弘様、長神 隆士様、古川 美栄様、内藤 喜久枝 様

視察費領収書

第17回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

委員長 清水

東京都千代田区平河町2



① 11,000円 × 4名

金 44,000 円

② 11,000円

第17回全国市議会議長会研究フォーラム in 長野の視察費として

令和4年10月19日・20日開催 (長野市)

## 視察・研修等報告書

2022年11月26日

田原市議会議長 殿

会派名 自由民主党田原市議団  
議員名 鈴木和基

下記のとおり、視察・研修等が終了したので報告します。

	会 派 代表者	大竹 正章	経 理 責任者	村上誠
期 間	令和4年11月15日（火）			
視 察 ・ 研 修 等 先	豊橋市 カリオンビル			
視 察 ・ 研 修 等 の 目 的	議員の資質向上と議会運営の基本を学ぶ			
視 察 先 等 面 会 者	三重県地方自治研究センター 高沖 秀宣 氏			
概 要 及 び 所 見	<p>1. 議員の資質向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議決機関としての議会の権能を果たすため、条例、予算、決算について熟議すべし。承認ではない、決定（議決）するのである。</li> <li>・ 議事機関として審議、議決、議案提出を通じ、政策形成機能を担うことが議会のあるべき姿。</li> </ul> <p>*現状ではあまり政策形成機能は発揮されず、議員もあまり関心がないのではと反省。</p> <p>2. 議会運営の基本</p> <p>「二元代表制」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議会は首長の追認機関ではない。</li> <li>・ 議会は首長と、立場や役割が異なる。</li> <li>・ 議会の存続意義は何か？二元代表制が機能しているか？（客観性をもって市長を観る）</li> </ul> <p>*議会改革とは「二元代表制」を追求していくこと。</p>			

#### 自治体議会の新しい動き

- ・住民に開かれ、住民と共に歩む議会。
- ・執行機関の追認機関から脱皮、自治体意思の決定機関の自覚。
- ・執行機関への質問だけから、議員同士の討議を中心とした議会運営へ。
- ・監視型から政策提言型議会へ（政策議会）。

#### 3. 議員力・議会力の強化

- ・議員としての力だけでなく、議会としての力を付けなければ、議会としての機能を果たせない。
- ・ひとりの意見は議会の意見ではない。
- ・一人会派を続けるなら、議会全体を説得する力が無ければ意味がない。

#### 4. 監視機能の強化

- ・一般質問への答弁で「検討する」「検討したい」は前に進める気のない答弁と知れ。いつまでに？の追求。
- ・委員会代表質問の導入。
- ・一般質問を議会の活性化に繋げる
- ・一般質問のレベルを上げ、議員力議会力のアップ。
- ・通年制議会の導入による議会力のアップ。
- ・政務活動費は残すな、更に議員報酬で活動せよ。

新人からベテランまで

## 自治体議会特別セミナー in 豊橋!!

# 議員の資質向上と議会運営の基本

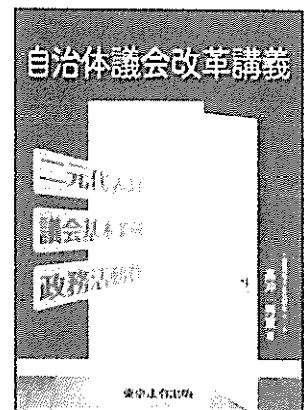
本セミナーは、地域を活性化させるために、二元代表制の下、日々尽力されている自治体議会議員と市民・議会事務局職員のための「学びの場」です。

特に新人議員等やる気のある議員が議会活動・議員活動を行う上で、特に重要な「議員の資質向上」と「議会運営の基本」について講義します。どうぞ豊橋地域の自治体の新人議員等議会関係者の参加をお待ちしております。

### (プログラム)

- 1 議員の資質向上の在り方
- 2 「二元代表制」における議会活動
- 3 議会運営の基本
- 4 議員力・議会力の強化

日 時	2022(令和4)年 11月15日(火) 13:30~16:00 (2時間半) ※受付開始は13:00
会 場	豊橋市民センター 小会議室 豊橋市松葉町二丁目 63 番地 tel0532-56-5141
受 講 料	7,000 円(議員)、4,000 円(市民・職員)(当日払) ※ テキスト代 2,000 円含む



使用テキスト

講 師	自治体議会研究所 代表 <b>高沖秀宣</b> (議会事務局研究会共同代表、元三重県議会事務局次長) 1953年三重県生まれ、京都大学法学部卒。2002年4月から三重県議会事務局で、政策法務監・政務調査課長・企画法務課長・総務課長・次長を歴任。 著書『自治体議会改革講義』(東京法令出版、2018年)をテキストに使用(当日配付)
申込方法	下記の mail(又は電話)にて、所属議会名、氏名、連絡先をお知らせください。 (参加者・講師はマスク着用。消毒、3密には十分留意して実施予定。)
申込み・ 問合せ先	自治体議会研究所(三重県津市白山町二本木 545)(代表:高沖秀宣) mail: soukon830@yahoo.co.jp、電話:090-4116-4501(9時~19時)

# 政務活動費領収書等貼付用紙

(領収書は重ならないように貼付)

領収書 貼付用 紙No.	20
--------------------	----

領収書金額	7,000 円
-------	---------

1	研究研修費
2	調査旅費
3	広報費
4	広聴費
5	要請・陳情活動費
6	会議費
7	資料作成費
8	資料購入費
9	事務費
10	その他の経費

## 領 収 書

自由民主党田原市議団  
鈴木和基様

金 7,000 円

上記正に領収いたしました。

ただし、「自治体議会特別セミナー」受講料として。  
テキスト代 2,000 円を含む。

令和4年 11 月 15 日

自治体議会研究所 (三重県津市白山町二本木545)

代表 高 沖 秀 宣



## 視察・研修等報告書

令和 4 年 11 月 16 日

田原市議会議長 殿

会派名 自由民主党田原市議団  
 議員名 内藤 浩

下記のとおり、視察・研修等が終了したので報告します。

	会派 代表者	大竹正章	経理 責任者	村上 誠
期 間	令和 4 年 1 1 月 1 5 日 (火)			
視 察 ・ 研 修 等 先	豊橋市民センター 小会議室			
視 察 ・ 研 修 等 の 目 的	地方議会特別セミナー			
視 察 先 等 面 会 者	自治体議会研究所 代表 高沖秀宜			
概要及び所見	<p>「議員の資質向上と議会運営の基本」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・議会の役割・機能を改めて学ぶ。憲法 93 条議事機関として議会を設置するとあり、審議、熟議する機関である。また、政策形成機能を担うが現状は発揮されていない。</li> <li>・二元代表制における議会の役割、意義を追求することが議会改革で重要なことである。</li> <li>・執行機関への質問だけでなく、議員同士の討議を中心とした議会運営を目指し、監視型から政策提言型の議会へ。</li> <li>・一人の議員の意見は、議会の意見ではない。過半数の意志が議会の意見となる。(議会力の強化)</li> <li>・一般質問も議員個人の問題でなく、議会としてどう考えるかが重要となる。(一般質問の追跡調査も必要)</li> <li>・委員会の代表質問で、議員個人から議会の質問とする。</li> <li>・監視機能を発揮するには通年制議会が有効であるが、議員の負担が大きくなるので報酬アップも考えなければならない。</li> <li>・政務調査費は、調査研究その他活動の一部で残りは報酬から支出する。</li> </ul>			



内藤 浩

# 政務活動費領収書等貼付用紙

(領収書は重ならないように貼付)

領収書 貼付用 紙No.	21
--------------------	----

領収書金額	7,000 円
-------	---------

①	研究研修費
2	調査旅費
3	広報費
4	広聴費
5	要請・陳情活動費
6	会議費
7	資料作成費
8	資料購入費
9	事務費
10	その他の経費

## 自由民主党田原市議会 領 収 書

内藤 浩 様

金 7,000 円

上記正に領収いたしました。  
 ただし、「地方議会特別セミナー」受講料として。  
 テキスト代 2,000 円を含む。

令和 4 年 11 月 15 日

自治体議会研究所 (三重県津市白山町二本木 545)

代表 高 沖 秀 宣

